未来を開発する

本書は電動ユニット部分を除くフレームに関する取扱説明書です。ご使用前に必ず、別紙「JWアクティブ　JWX-1/JW-Ⅱ取扱説明書」をよくお読みください。

YZ-E
3DWAVEFRAME

GW-E

mini-E

ワイゼット・イー/ジーダブリュー・イー/ミニ・イー

取 扱 説 明 書

安全にご使用いただくために

*ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
*お子様が使用される場合は、保護者の方が本書を
よくお読みになり、万全なご指導をお願いします。
*日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や車いすの破損
のおそれがあります。

はじめに

この度は、オーエックス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お買い上げいただいた製品が十分にその性能·機能を発揮できるように、また、安全にご使用いただけるように、正しい取扱い方法や点検·整備などについて必要な事柄を記載してあります。車いすの取扱いを十分ご存じの方も、この製品独自の装備·取扱いがありますので、必ずご使用前に本書をよくお読みになっていただき、正しく、安全で、快適にご使用ください。また、お子様が使用される場合は、保護者の方と一緒に本書をお読みいただき、保護者の方の万全なご指導をお願いします。なお、本書は紛失しないように大切に保管してください。

＊本書を紛失してしまった場合は再発行(有料)いたしますので販売店、または下記までご連絡ください。
＊お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
＊落丁·乱丁がありましたらお取替えいたしますので、下記までご連絡ください。

株式会社 オーエックスエンジニアリング 営業部 お客様ご相談窓口
〒265-0043　千葉市若葉区中田町2186-1
TEL043-228-0777 / FAX043-228-3334

＜シリアルナンバー表示位置＞

アフターサービスについてのご相談に対し的確な判断·処置をするためシリアルナンバーを正確にご連絡ください。なお、シリアルナンバーはメインフレーム右側及び保証書に貼られています。

あなたの車いすのシリアルナンバー

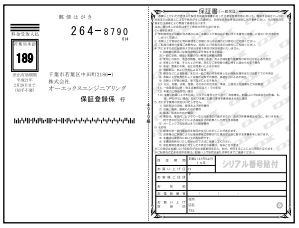
シリアルナンバーをご記入ください。

＊仕様変更や各機種共通仕様などにより図や内容が一部実物と異なる場合がありますのでご了承ください。

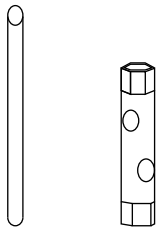
＜付属品＞ ※：車いすの仕様により工具が付属します

付属品は次の通りですのでご確認ください。

本書



保証書 / 延長保証登録ハガキ



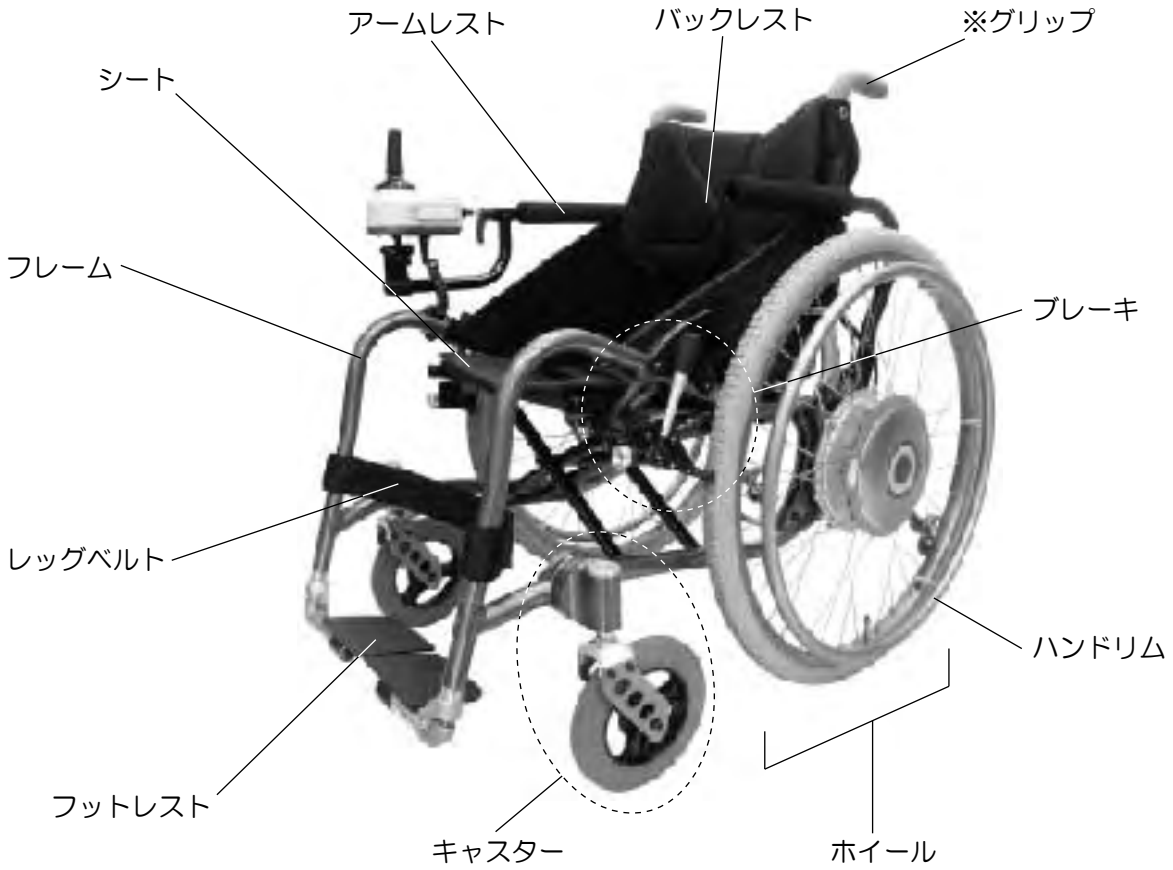
※：GW-E 付属工具

キャスターフォーク「SFR2」選択時

・ボックスレンチ（10-12mm）1セット

- 組付説明書（JWX-1/JW-Ⅱ）
- 保証書（JWX-1/JW-Ⅱ）/車イス保証登録書
- 取扱説明書（JWアクティブ JWX-1 /JW-Ⅱ）

＜各部の名称＞※：オプション



もくじ

○ はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　シリアルナンバー表示位置・・・・・・・・・・・・ 2
　付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
　各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
○ もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
○ 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 章 総説

　基本的な操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・12
　お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・12
　保管について・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　調整・点検について・・・・・・・・・・・・・・・12
　調整可能な箇所・・・・・・・・・・・・・・・・・12

2 章 車いすに乗る前に

車いすの折りたたみ
　折りたたむ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
ブレーキの操作
　アジャスタブルブレーキ・・・・・・・・・・・・・16
　ブレーキのかけ方・・・・・・・・・・・・・・・・16
　ブレーキの解除・・・・・・・・・・・・・・・・・16
ブレーキの調整・点検
　ダイヤルアジャストの調整・・・・・・・・・・・・17
　アウターノブ・ノブボルトアジャストの調整・・・17
　ステー取付け位置の調整・・・・・・・・・・・・・18
　ブレーキの点検・・・・・・・・・・・・・・・・・18
バックレスト角度の調整・点検
　バックレストの角度調節(YZ-E･mini-E) ・・・・19
　バックレストの点検・・・・・・・・・・・・・・・19
乗車・安全な介助
　乗車姿勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　安全な介助のために・・・・・・・・・・・・・・・20

3 章 各部の調整・点検

フットレストの調整･点検
　フットレストの種類・・・・・・・・・・・・・・・22
　フットレスト長の調整(ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ)・・・・・・・・23
　フットレスト長の調整(ﾊｲﾏｳﾝﾄ)・・・・・・・・・24
　ハイマウントフットレストの調整可能範囲・・・・25
　フットプレートの角度調整・・・・・・・・・・・・26
　プレートセパレートフットレストの角度修正・・・27
プレートセパレートフットレスト(ﾀｰﾝ)の操作
　開く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
　戻す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
　フットレストの点検・・・・・・・・・・・・・・・28
バックレスト及びレザー類の調整･点検
　アウターレザーの着脱(GW-E)・・・・・・・・・・29
　アウターレザーの取外し(YZ-E･mini-E) ・・・・29
　アウターレザーの取付け(YZ-E･mini-E) ・・・・29
　ランバーパッドの交換(YZ-E･mini-E) ・・・・・29
　ヒップレザーの取外し・・・・・・・・・・・・・・30
　ヒップレザーの取付け・・・・・・・・・・・・・・30
　サイドレザーの取外し・・・・・・・・・・・・・・31
　サイドレザーの取付け・・・・・・・・・・・・・・31
　インナーレザーの調整・・・・・・・・・・・・・・32
　インナーレザーの取外し・・・・・・・・・・・・・33
　インナーレザーの取付け・・・・・・・・・・・・・33
　バックレスト高の調整・着脱・・・・・・・・・・・34
　シートレザーの張り調整・・・・・・・・・・・・・35
　レザーの点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
キャスターの調整･点検
　キャスター角の調整(YZ-E) ・・・・・・・・・・・36
　ハイトの調整(mini-E) ・・・・・・・・・・・・・37
　キャンバー角の調整(mini-E) ・・・・・・・・・・37
　キャスター角の調整(mini-E) ・・・・・・・・・・38
　トレッドの調整(mini-E) ・・・・・・・・・・・・38
　キャスター角の調整(GW-E)・・・・・・・・・・・39
　キャスターの点検・・・・・・・・・・・・・・・・39
アームレストの調整･点検
　アームレスト高の調節・・・・・・・・・・・・・・40
　アームレストの点検・・・・・・・・・・・・・・・40
その他の調整･点検
　SFR2の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
　SFR2の調整範囲・・・・・・・・・・・・・・・・41
　レッグベルトの着脱・・・・・・・・・・・・・・・42
　タイヤの点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
日常･定期点検
　日常点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
　定期点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

4 章 その他

仕様諸元
　YZ一E仕様諸元・・・・・・・・・・・・・・・・・45
　GW一E仕様諸元 ・・・・・・・・・・・・・・・・46
　mini一E仕様諸元 ・・・・・・・・・・・・・・・47
お客様ご相談窓口のご案内
　お客様ご相談窓口・・・・・・・・・・・・・・・・48
　アフターサービスの実施・・・・・・・・・・・・・48

安全上のご注意

＜絵表示について＞

この取扱説明書では、この製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を指しています。

この表示は、増し締め箇所を示しています。
定期的に、緩みがないか点検・増し締めをして下さい。

この表示は、注油場所を示しています。
定期的(1か月に1度が目安)に、注油をして下さい。

この表示の示す箇所には、絶対に潤滑油などの油分は塗布してはいけません。
万が一、油分などが付着した場合は、十分に脱脂してください。

⚠警告

自操用車いす以外の目的に使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。
この製品は、自操・平坦地専用です。新たに補助動力装置などを取付けると保証の適用は除外されますので、取付けないでください。

壊れたままや異常がある時は使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。
故障や異常を見つけたら、車いすの使用をやめ販売店にご相談ください。

改造･分解しない。

改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させたりし、事故や転倒などのおそれがあります。
改造・分解は行わず、整備が必要な時は販売店にご相談ください。

調整作業に不安がある（調整方法がわからない）時は調整しない。

部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させて、事故や転倒などのおそれがあります。
不安な時は販売店にご相談ください。

不十分な調整状態で使用しない。

身体に無理をかけたり、褥瘡（じょくそう）などになるおそれがあります。
身体の状態に合わせて、正しい乗車姿勢が保て、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整します。

高温になる場所（炎天下の自動車内、暖房器具の近くなど）に置かない。

車いすが加熱され火災ややけどなどのおそれがあり、また、パンクなど部品を著しく傷めるおそれがあります。

車いすに巻き込まれやすい服装は避ける。

ホイールやキャスターなどに巻き込まれ、事故や転倒などのおそれがあります。

他の乗り物につかまりながらの移動はしない。

車いすを損傷させたり転倒・転落などのおそれがあります。

車いすを踏み台にしたり、車いすの上で立ち上がったりしない。

バランスを崩し転倒・転落のおそれがあります。

自動車の助手席及び後部座席に車いすを積み込む際は、確実に固定する。

自動車の運転中に車いすが動き、運転に支障をきたします。

二人乗りやけん引等はしない。

事故や転倒・転落などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。

フットレストを折りたたんだままで走行しない。

転倒・転落などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。

⚠警告

フットレストに乗ったり、立ったりしない。

転倒や転落などのおそれがあります。また車いすが損傷します。

掃除する時などに、タイヤやハンドリムにワックスなどの油分を付けない。

ワックスなどの油分が付くと、タイヤやハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突・転倒などのおそれがあります。
ワックスなどの油分が付いた時には、十分脱脂してください。

下り坂などではスピードを出さない。

衝突や転倒などの事故をおこしやすく危険です。
坂道での走行の方法については、別紙「JWアクティブ　JWX-1/JW-Ⅱ　取扱説明書」をよくご覧になり、安全に行ってください。

急坂などの自操は避ける。

事故や転倒のおそれがあります。
介助してもらいましょう。

ブレーキはスピード調整に使用しない。

タイヤがロックし、事故や転倒のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。
スピード調整の方法については、別紙「JWアクティブ　JWX-1/JW-Ⅱ　取扱説明書」をよくご覧になり、安全に行ってください。

悪路・荒地には入らない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。この製品を山岳・荒地・砂地・河原・水中・泥地などのオフロードでは使用しないでください。

凹凸の激しいところ（踏切、歩道などの段差や溝）は自操を避ける。

キャスターがはさまったり、車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

段差の飛び降りなど、乱暴･無理な取扱いをしない。

車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

ペットを連れて使用しない。

ペットに車いすごと引きずられ、事故や転倒などのおそれがあります。

滑りやすいところは、自操を避ける。

降雪時、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップしやすく事故や転倒などのおそれがあります。
介助してもらいましょう。

段差の乗越えは手前でいったん停止してから、ゆっくりと乗越える。

速度を落とさず段差を乗降すると、転倒や転落のおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。

⚠警告

ブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキを損傷させ、事故や転落のおそれがあります。
ブレーキを解除してから走行しましょう。

未使用時の車いすに乳幼児を近づけない。

車いすを倒して下敷きになったり、けがのおそれがあります。

運動機能が低下するもの（アルコールや風邪薬など）を摂取した時は自操しない。

事故や転倒・転落などのおそれがあります。

ハンドリム以外の回転部（タイヤ、スポークなど）に手を触れない。

手を巻き込まれるおそれがあります。

バックレストにバッグなどを取付ける場合、中身を入れすぎない。

後方へ転倒のおそれがあります。

エスカレーターは使用しない。

事故や転倒・転落のおそれがあります。

点検・整備をする。

点検・整備を怠ると、故障や事故などのおそれがあります。
日常の点検・整備、及び1か月に1回、各部の点検・整備をしてください。

走行開始時、また走行中は周囲に気を付ける。

子供などが車いすの回転部・可動部に手などをはさまれるおそれがあります。

身体の状態に適したクッションを使用して車いすに着座する。

褥瘡（じょくそう）になるおそれがあります。

自動車の座席として使用しない。

車いすに移乗したまま、自動車の座席として車いすを固定して使用すると、車いすが破損し事故のおそれがあります。
自動車の座席、またはそれに耐えられる車いすに乗り換えてください。

夜間走行は避ける。

事故に遭うおそれがあります。
明るい道の利用、視認性の高い服装・機器などで自衛しましょう。

移乗時・停車時・未使用時はブレーキをかける。

車いすが動き出して落下・転落・転倒などのおそれがあります。
少しの間の停車、駐車でも必ずブレーキをかけてください。

道路交通法上車いすは歩行者です。歩道を通りましょう。

⚠注意

素足で使用しない。

けがのおそれがあります。
靴下をはき、底のある履き物をはいて使用してください。

タイヤをにぎって走行しない。

タイヤとサイドレザー、ブレーキ、アームレストの間に、指をはさむおそれがあります。
手動走行時は、必ずハンドリムを使って走行してください。

屋外に放置しない。

気象変化や気温変化により、車いすが著しく劣化します。
必ず屋内に保管してください。

シートパイプをにぎって車いすを開かない。(P.15)

フレームとシートパイプの間に指をはさまれます。

サイドレザーと回転部(タイヤ、スポークなど)を接触させない。

サイドレザーが損傷します。
クッションの種類、サイズによっては、サイドレザーと回転部が接触するおそれがありますので接触しないものを使用してください。

貴重品は車いすのポケットに入れない。

紛失・盗難のおそれがあります。

面ファスナーは、確実に貼付ける。

固定力が低下して、調整状態が変わります。

面ファスナーに付着したほこり・砂・糸くずなどは取除く。

固定力が低下して、調整状態が変わります。

＜安全な介助のために＞

⚠注意

走行時に回転部・可動部には触れさせない。

介助者がホイールなどに巻き込まれるおそれがあります。

アームレストが確実にボルト固定状態であることを確認する。

介助時にアームレストを持ち、アームレストが抜け、転倒・転落のおそれがあります。
介助時には必ずアームレストの固定状態を確認してください。
また、着脱式アームレストの場合は、アームレストを持たないでください。

持つ位置を指定する。（P.20）

転倒・転落のおそれがあります。また、介助者がけがをするおそれがあります。

操作レバーに触れる際は周囲に気を付ける。

介助者に衝突し、介助者がけがをするおそれがあります。
操作レバーに触れる際は、十分に周囲に気を配りましょう。

1章
総説

この章では、基本的な操作方法とお手入れや保管方法及び調整・点検について説明しています。

- 基本的な操作方法
- お手入れについて
- 保管について
- 調整・点検について
- 調整可能な箇所

基本的な操作方法

※ヤマハ製電動ユニット(コントローラー・バッテリー充電器・クラッチ・ホイール・ハンドリム・ウイリーバー等)に関する操作については、別紙「JWアクティブ JWX-１/JW-Ⅱ 取扱説明書」をよくお読みください。

〇車いすのシート部にクッションを敷き、クッションに着座してください。
〇足はフットレストに乗せてください。
〇移乗時・停車時・未使用時は必ずユニットの電源を切ってブレーキをかけて下さい。

お手入れについて

〇こまめに清掃することをお勧めします。
こまめに清掃することにより、車いすの異常を早期に発見することにもつながります。

※有機溶剤を含んだ油汚れ取りは使用しないでください。
塗装面がはがれるおそれがあります。

保管について

〇必ず屋内で保管してください。
〇長期間ご使用にならない場合は、タイヤを接地させないようにして、タイヤの空気を抜いて保管してください。
〇再びご使用の際は点検・整備をしてください。

調整･点検について

〇この車いすには、各所に調整機構がありますので、あなたの状態に合わせて各所の調整を行ってください。
〇最適な姿勢で使用できるように各部の調整を行って下さい。
〇調整作業に不安がある場合は、ご自分では調整しないで、販売店に依頼してください。
〇日常の点検・整備を行ってください。
〇1年に1回を目安にして、定期点検を行ってください。

調整可能な箇所

〇この車いすは、次の箇所に調整機構があります。

□ ブレーキ：効き具合・前後位置
□ バックレスト：高さ・角度・張り(バックレザー)
□ フットレスト：長さ・角度(フットプレート)
□ アームレスト：高さ
※ キャスター：角度(前後方向)

※キャスターは誤った調整を行うと大変危険ですので、必ずお買い求めになった販売店もしくは当社営業所にて調整を行ってください。

2章
車いすに乗る前に

この章では、この車いすの基本的な機能について説明しています。ご使用になる前に次の各説明を必ずお読みください。

- 車いすの折りたたみ
- ブレーキの操作
- ブレーキの調整・点検
- バックレスト角度の調整・点検
- 乗車・安全な介助

車いすの折りたたみ

＜折りたたむ＞【図1-1】【図1-2】【図1-3】【図1-4】

※折りたたむ前に必ずコード類がバッテリー等に引っ掛かっていないことを確認してください。

1）セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを折り上げる。【図1-2】

2）折りたたみベルト中央部を、上に引き上げる。【図1-3】

3）シートパイプ先端部の左右を合わせて折りたたむ。【図1-4】

⚠注意

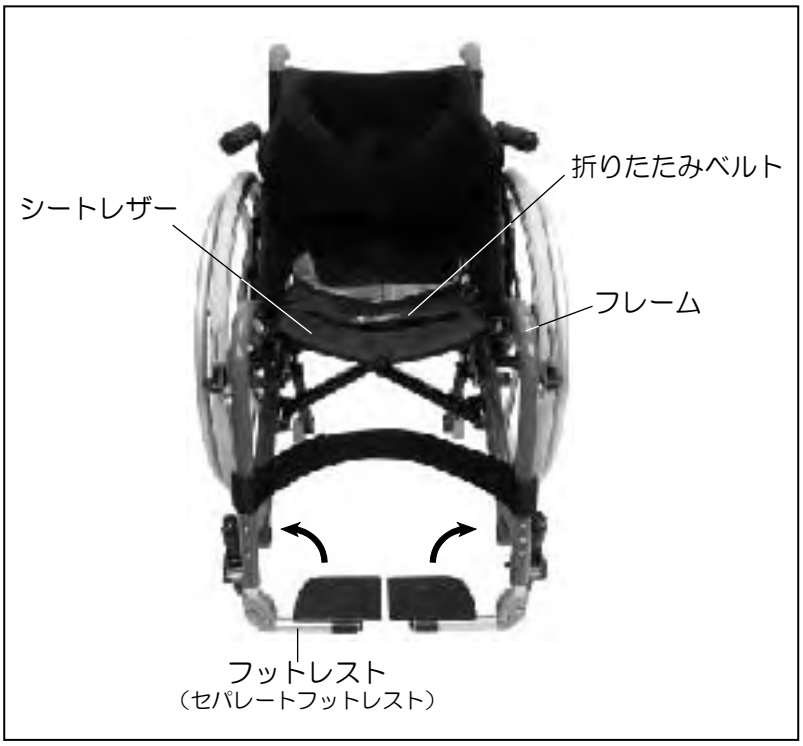
折りたたむ前にコード類がバッテリーやブレーキレバー等に引っ掛かっていないことを確認する。

＊コード類がバッテリー等に引っ掛かった状態で折りたたむと、車いすが破損するおそれがあります。

⚠注意

折りたたみベルトで車いすを持ち上げない。

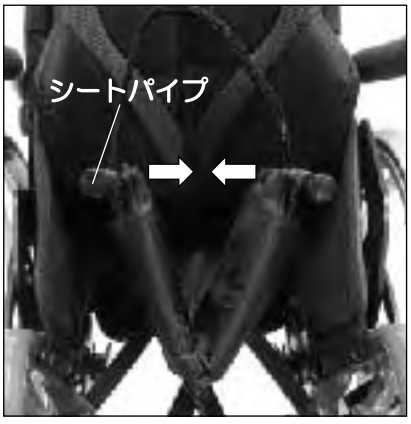
＊車いすの重さで折りたたみベルトが外れ、事故のおそれがあります。



【図1-1】

【図1-2】

【図1-3】



【図1-4】

車いすの折りたたみ

＜開く＞【図1-5】【図1-6】【図1-7】

※車いすを開く前に必ずコード類がバッテリー等に引っ掛かっていないことを確認する。

1）フレームを持って少し開く。

2）片手でアームレストまたはグリップ（バックレスト）を押さえながら、手をはさまないように注意して、もう一方の手でシートパイプを押し広げ、シートパイプが「受け」に確実にはまるまで広げる。【図1-6】

3）セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを下げる。【図1-7】

⚠注意

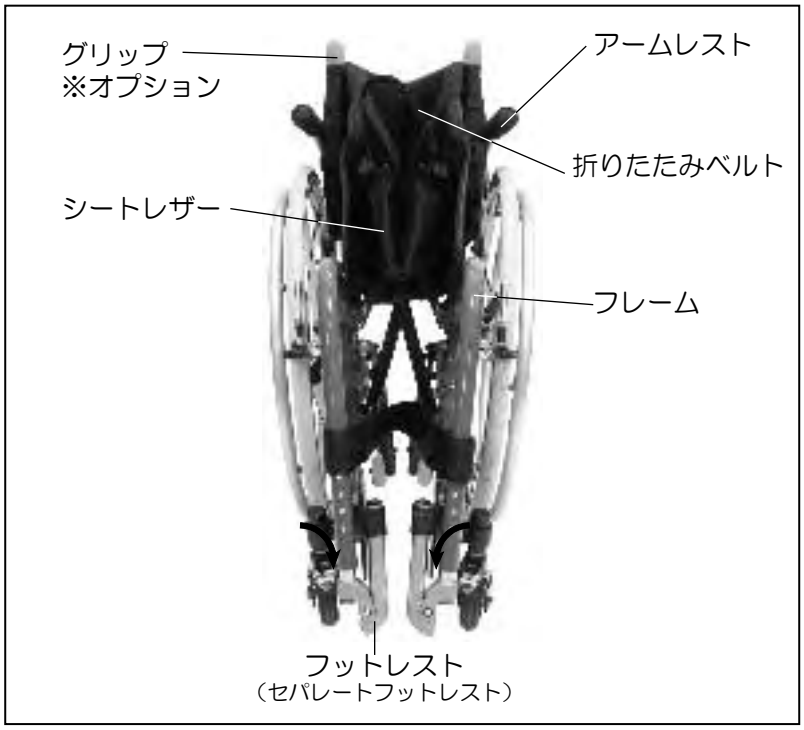
車いすを開く前に必ずコード類がバッテリーやブレーキレバー等に引っ掛かっていないことを確認する。

＊コード類がバッテリー等に引っ掛かった状態で車いすを開くと、車いすを破損するおそれがあります。

⚠注意

シートパイプをにぎって操作しない。

＊シートパイプとフレームの間に手や指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



【図1-5】

【図1-6】

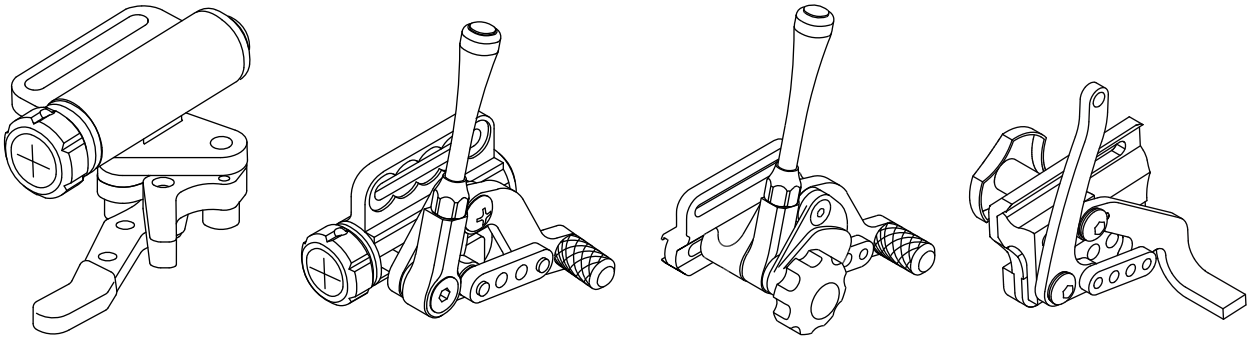
【図1-7】

ブレーキの種類・操作

ブレーキの種類には次の4つがありますので、ご自分の車いすに装着されているブレーキをご確認の上、「ブレーキの操作」「ブレーキの調整・点検」をお読みください。

＜アジャスタブルブレーキ＞【図1-8】

ダイヤル操作によるブレーキ位置の微調整が可能で、次のものがあります。



＜ホリゾンタルブレーキ＞（ダイヤルアジャスト）　＜バーティカルブレーキ＞（ダイヤルアジャスト）　＜バーティカルブレーキ＞（アウターノブ）　＜バーティカルブレーキ＞（ノブボルトアジャスト）

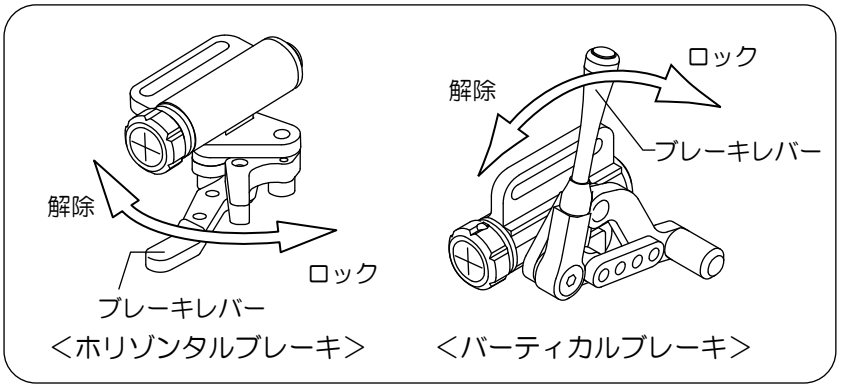
【図1-8】

＜ブレーキのかけ方＞【図1-9】

1）左右のブレーキレバーを後方(タイヤ側)にロックするまで引く。
2）車いすが動かないことを確認する。
※ブレーキをかけた状態で車いすが動く場合やブレーキが固くてかけられない場合は、「ブレーキの調整・点検」(P.17～18)を行ってください。

＜ブレーキの解除＞【図1-9】

1）左右のブレーキレバーを前方(進行方向)に押す。
2）ブレーキが完全に解除されたことを確認する



＜ホリゾンタルブレーキ＞　＜バーティカルブレーキ＞

【図1-9】

⚠警告

ブレーキをかけた状態で、車いすが動かないことを確認する。
＊転倒・転落のおそれがあります。
＊「ブレーキの調整・点検」(P.17～18)をこまめに行いブレーキの効き具合を最適に保ってください。

⚠警告

ブレーキはスピード調整に使用しない。
＊タイヤがロックし、事故や転倒のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。

⚠注意

ブレーキの解除をする時はブレーキレバーを最後まで戻す。
＊タイヤとブレーキの隙間に指をはさむおそれがあります。

ブレーキの調整・点検

「ホリゾンタルブレーキ」「バーティカルブレーキ」のどちらもタイヤの空気圧が適正な状態(P.42)で、ブレーキをかけた時のタイヤの凹み「A」【図1-10】が3～5㎜になるように調整してください。

＜ダイヤルアジャストの調整＞【図1-10】【図1-11】

1）ブレーキを解除する。(P.16)
2）ダイヤルを回して調整する。
　a の方向(反時計回り)
　　タイヤの凹みを増やし、ブレーキの効きを強くする。
　b の方向(時計回り)
　　タイヤの凹みを減らし、ブレーキの効きを弱くする。
3）左右同様に調整する。

＜アウターノブ・ノブボルトアジャストの調整＞

【図1-10】【図1-12】【図1-13】

1）ブレーキを解除する。(P.16)
2）ノブを回して緩める。
3）最適な位置にスライドさせる。
4）ノブを回して締める。
5）左右同様に調整する。

⚠警告

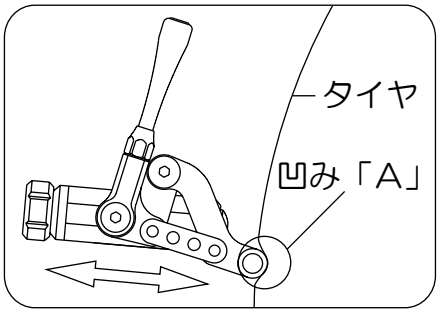
ブレーキの効きは必要以上に強くしない。
＊ブレーキが破損し事故や転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

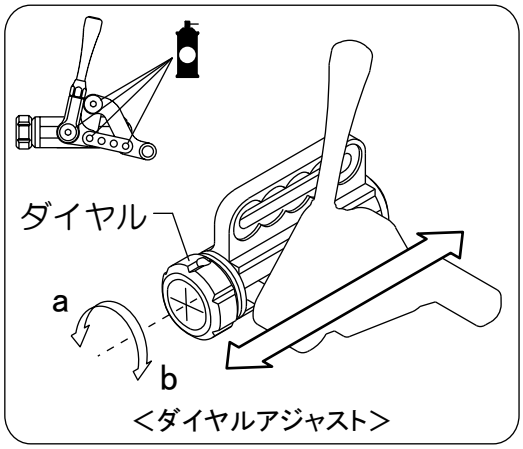
注油は、ブレーキとタイヤの接触する箇所には行わない。
＊ブレーキが効かず転倒・転落のおそれがあります。油分が付着してしまったときは、十分に脱脂してください。

⚠警告

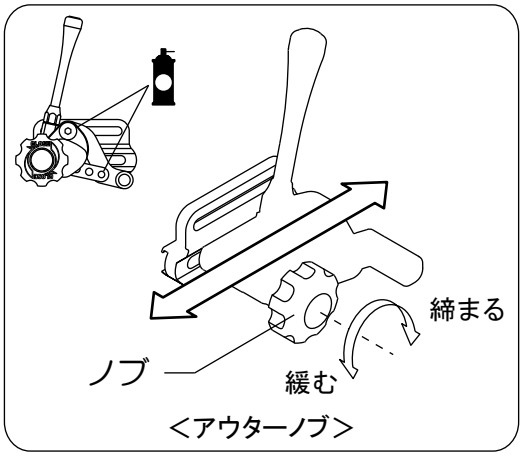
アウターノブ・ノブボルトアジャストの調整後には「ノブ」が締まっているか確認してから使用する。
＊「ノブ」がしっかりと締まっていない状態で使用しますとブレーキが前後にスライドし非常に危険です。



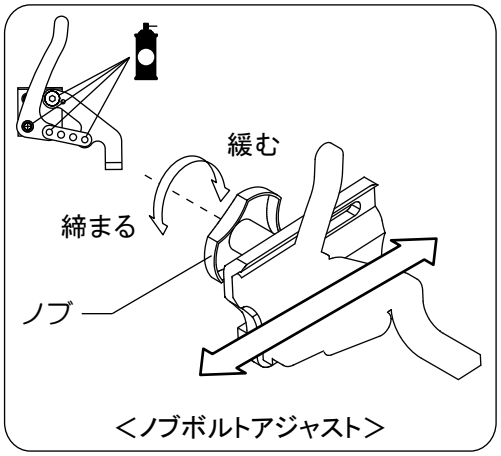
【図1-10】



＜ダイヤルアジャスト＞
【図1-11】



＜アウターノブ＞
【図1-12】



＜ノブボルトアジャスト＞
【図1-13】

ブレーキの調整・点検

＜ステー取付け位置の調節＞【図1-14】

車軸前後位置の調整やホイールサイズの変更を行うと、ダイヤルやノブによる微調整では調整しきれない場合があります。このような場合にはブレーキ本体もしくはブレーキステーの取付け位置を移動して調節を行ってください。

※下図は一例です。ご自分の車両に装着されているブレーキの部品構成をよく確認した上で調節してください。

⚠警告

ボルトを締めるときにワッシャーが確実に加工溝に収まっていることを確認する。

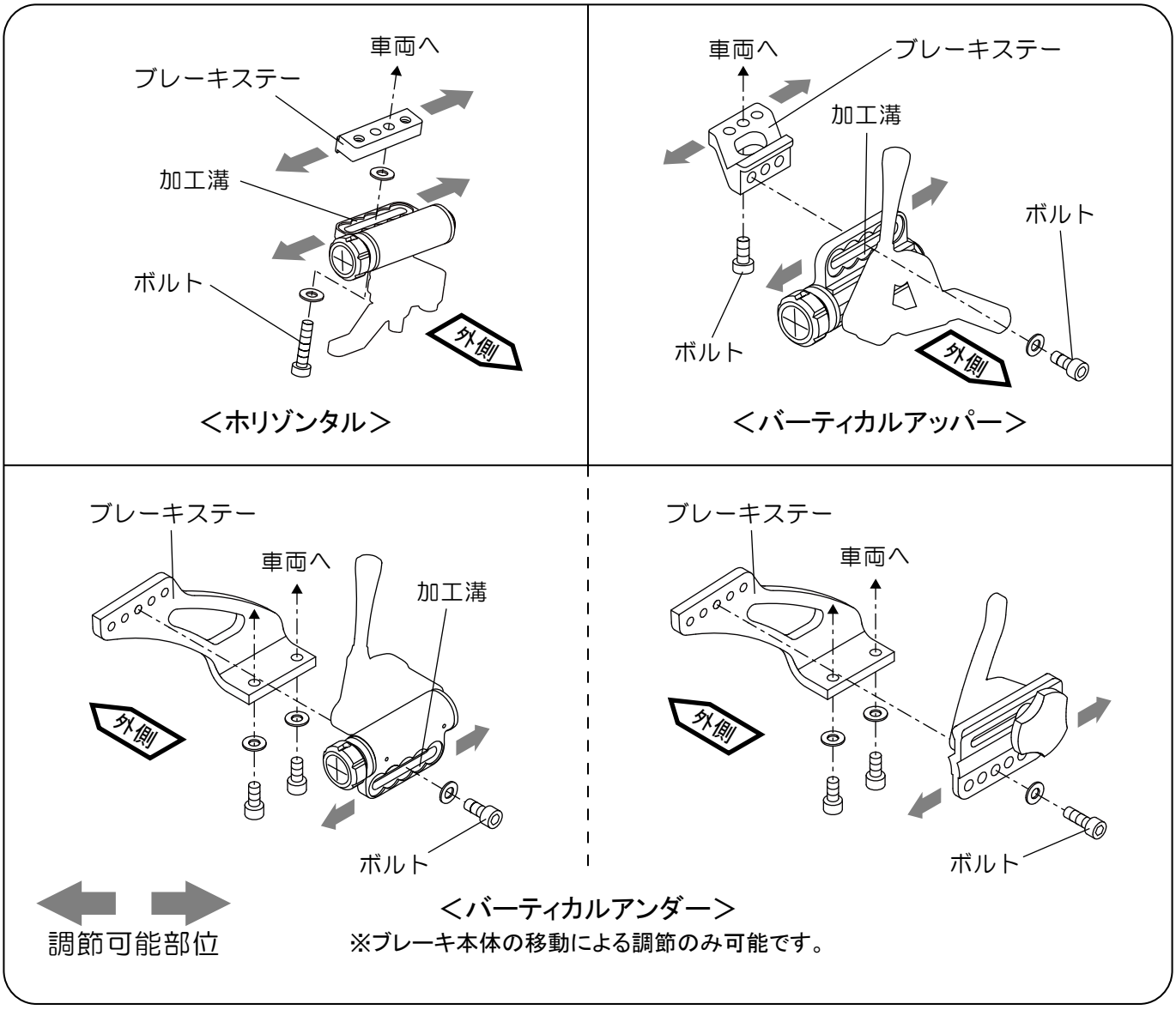
＊ブレーキが外れ事故や衝突、転倒・転落のおそれがあります。

＊ブレーキにガタつきや異常な動きなどを見つけたら増し締めを行ってください。増し締めを行っても異常があるときは、車いすの使用を止め、販売店にご相談ください。

＜ブレーキの点検＞

毎日乗車前にブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落がないか点検してください。

ボルト締付けトルク　10N･m(1.0kgf･m)



【図1-14】

バックレスト角度の調整・点検

＜バックレストの角度調節（YZ-E・mini-E）＞【図1-15】

1）アウターレザーを取外す。(P.29)
2）サイドレザー後部の面ファスナーとベルトをはがす。(P.31)
3）②ボルトを2～3回転緩める。
4）①ボルトを取外す。
5）バックレストを最適な角度に調節する。（YZ-E：5段階/mini-E：4段階）
※調節時、固くて動かしづらい場合は、無理に動かさず、③④ボルトも緩めてください。
6）①ボルトを取付ける。
※③④ボルトも緩めた場合は、③④ボルトを締める。
7）②ボルトを確実に締める。
8）反対側も同様に調節する。
9）サイドレザー後部及びベルトを最適な張りになるように貼付ける。(P.31)
10）アウターレザーを取付ける。(P.29)

⚠注意

必ず左右のバックレスト角度は同じ角度にする。
＊バックレストに負荷がかかり車いすが破損するおそれがあります。

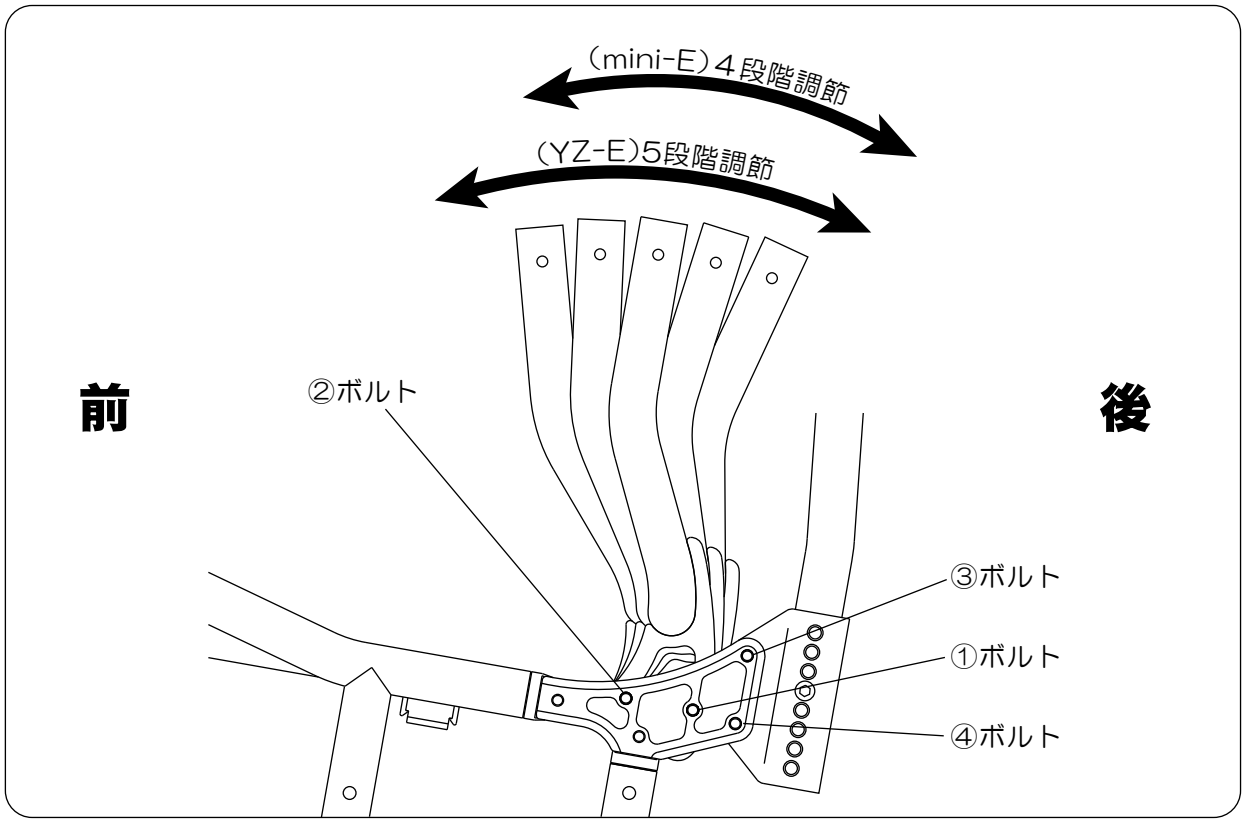
⚠注意

サイドレザーは、たるまないように貼付ける。
＊ホイールへの干渉や、巻き込みのおそれがあります。

＜バックレストの点検＞

ボルト・ナット類の緩み、脱落、極端に大きなガタつきがないか点検してください。

①～④ボルト締付けトルク　12N･m(1.2kgf･m)



【図1-15】

乗車・安全な介助

＜乗車姿勢＞

車いすのシート部にクッションを敷き、着座してください。足はフットレストに乗せてください。
最適な姿勢で使用できるように、フットレストの調整、バックレストの調整を行ってください。(「3章 各部の調整・点検」参照)

⚠警告

車いすを持ち上げるときは必ず○印の箇所を指定する。

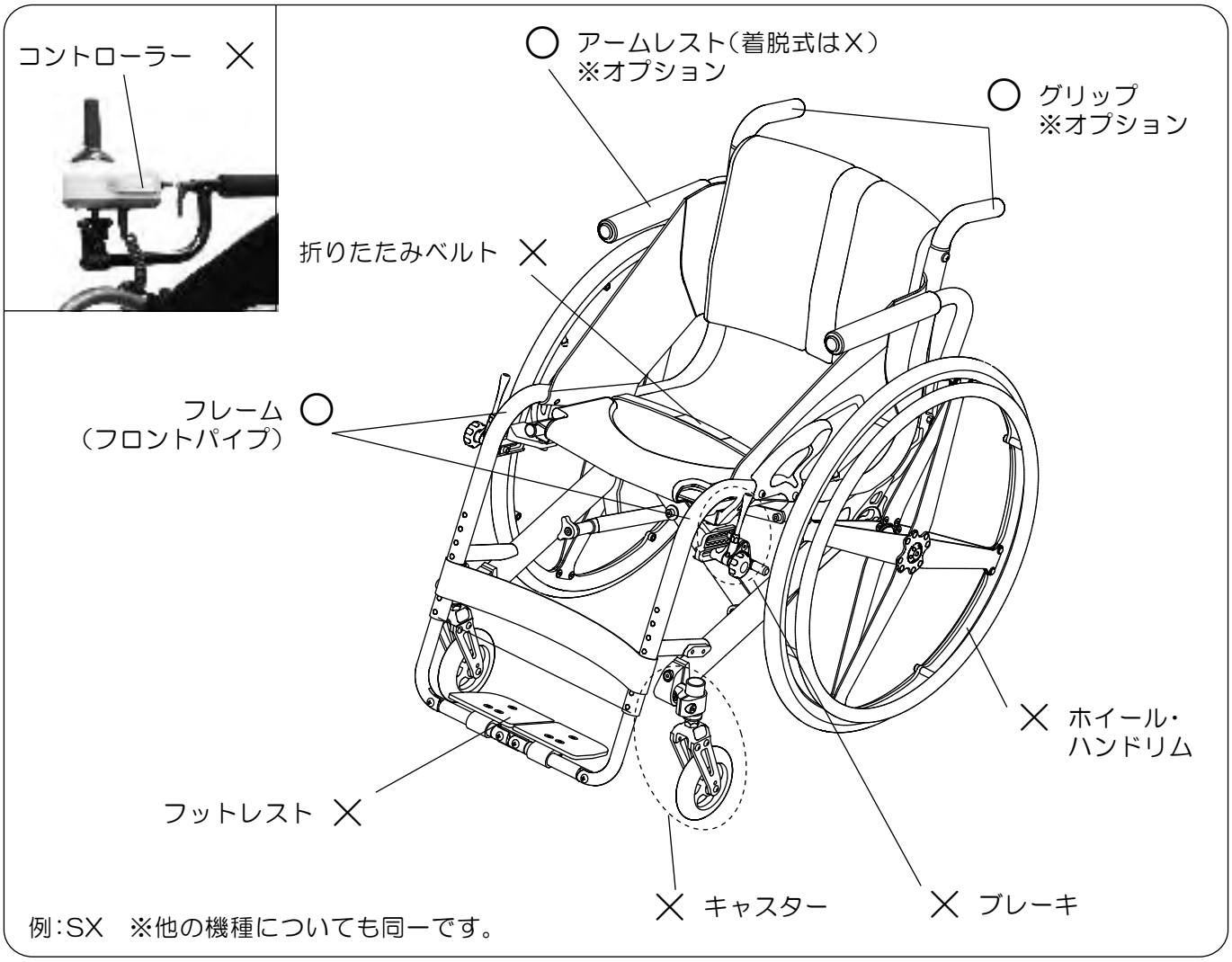
＊○印以外の箇所を持つと部品が外れたり破損したりして落下・転落・転倒のおそれがあります。

＊車いすの介助に不慣れな方が、ホイールや着脱可能な状態のアームレストを持つことがありますが、非常に危険ですので、あなたが安全な箇所を指定してください。

＜安全な介助のために＞【図1-16】

介助を受ける際には、車いすを持つ箇所を介助者に指示してください。

下図に示す×印の箇所は非常に危険です。

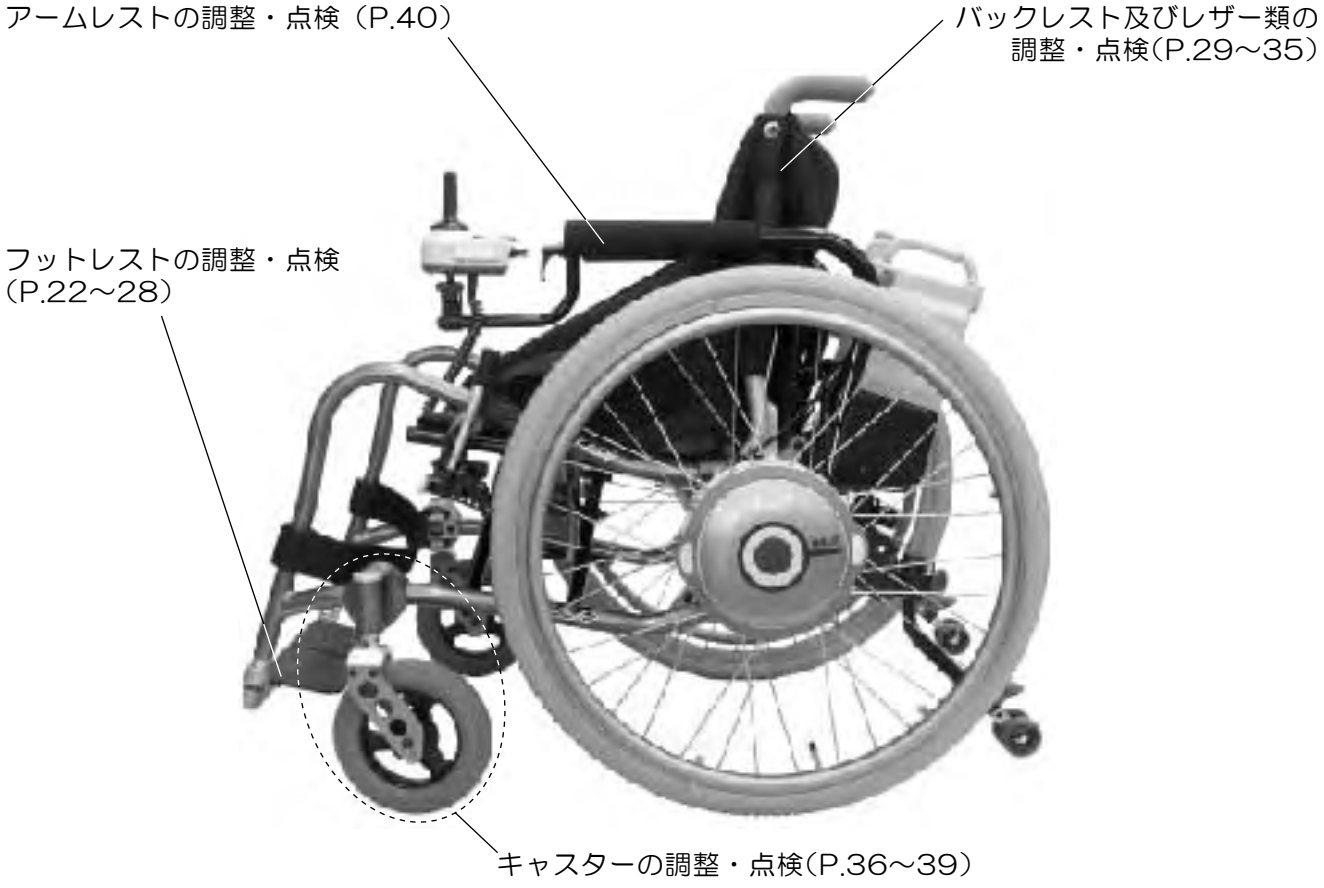


【図1-16】

3章
各部の調整・点検

この章では、各部の調整・点検について
説明しています。

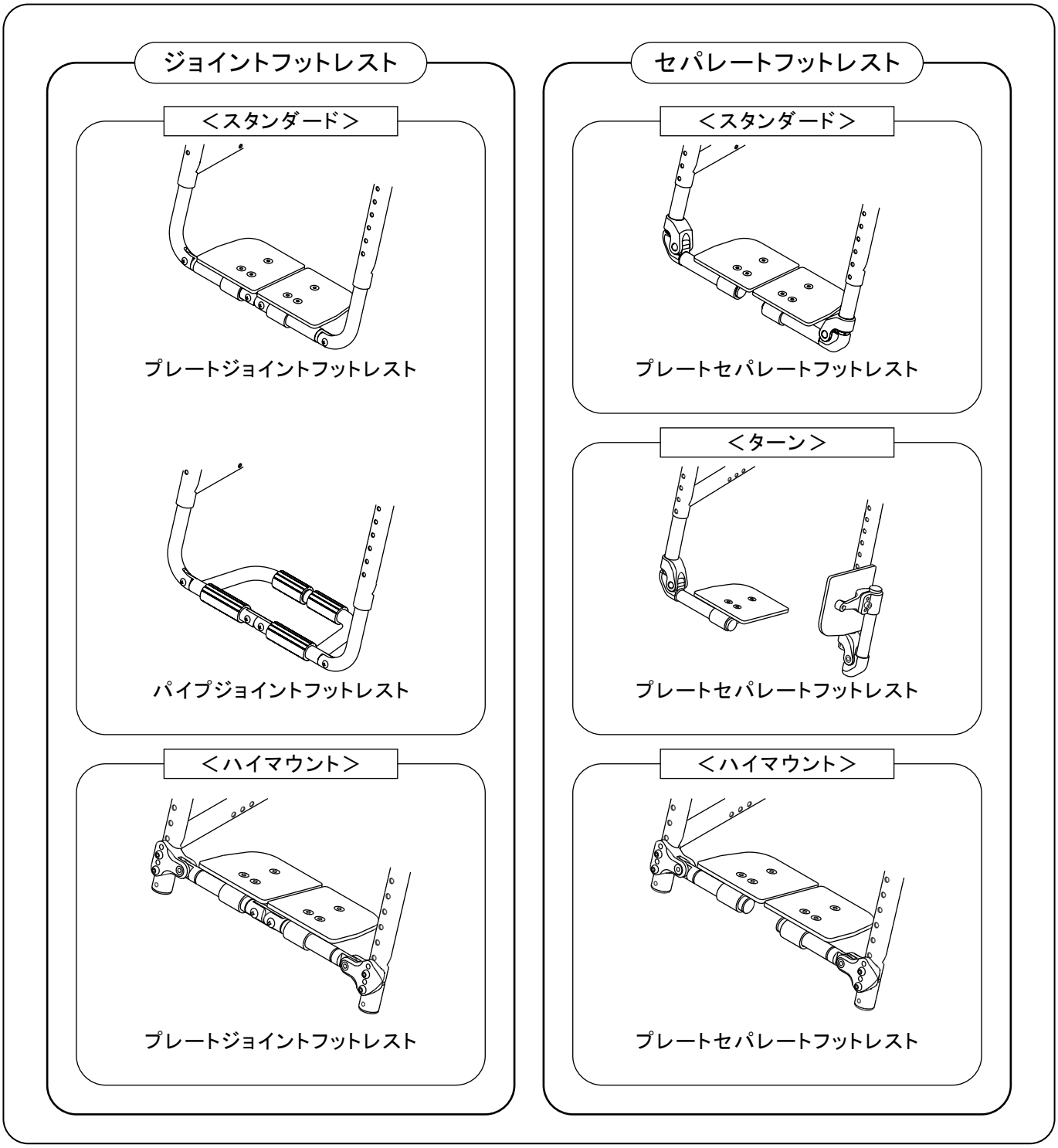
フットレストの調整・点検
バックレスト及びレザー類の調整・点検
キャスターの調整・点検
アームレストの調整・点検
その他の調整・点検
日常・定期点検



フットレストの調整・点検

＜フットレストの種類＞【図2-1】

フットレストにはいくつかのタイプがありますので、ご自分の車いすに装着されているフットレストをご確認の上「フットレストの調整・点検」をお読みください。



【図2-1】

フットレストの調整・点検

＜フットレスト長の調節（スタンダード）＞【図2-2】

車いすのシート部にクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

1）レッグベルトを外す。(P.42)
2）左右の取付けネジ(ボルト)を外す。
3）フットレストロッドバーを上下にスライドさせ最適な位置に合わせる。
4）左右同じ位置に合わせ、取付けネジ(ボルト)を締付ける。
5）フットレストから足が後方に落ちないようにレッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.42)

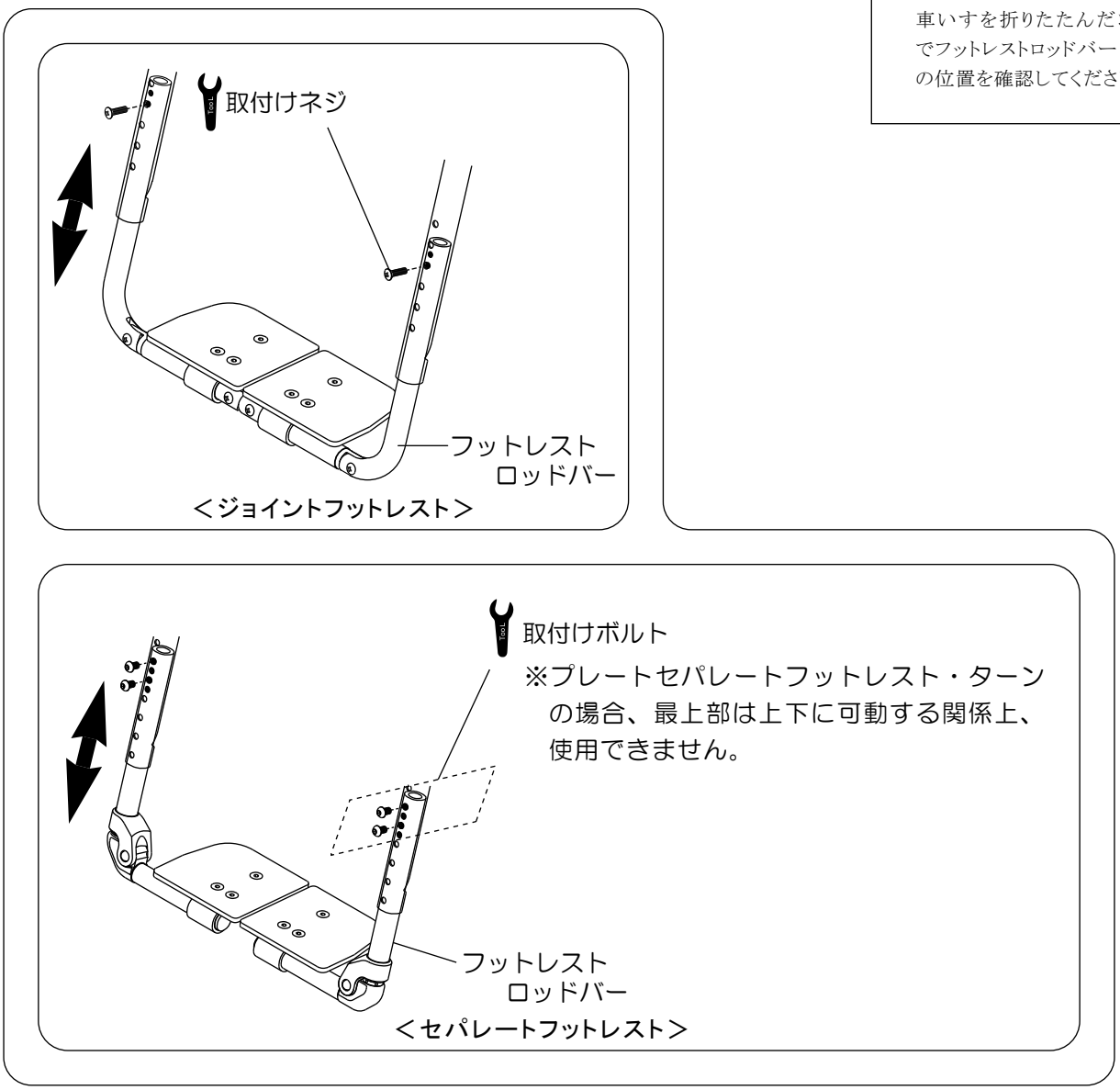
取付けネジ締付けトルク　6N･m(0.6kgf･m)
取付けボルト締付けトルク　8N･m(0.8kgf･m)

⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
＊段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さに調節する。
＊車いすが破損するおそれがあります。
＊左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でフットレストロッドバー下端の位置を確認してください。



【図2-2】

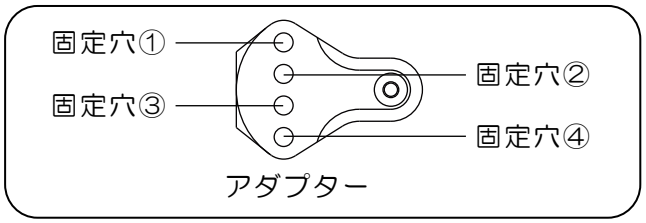
フットレストの調整・点検

＜フットレスト長の調節（ハイマウント）＞【図2-3】【図2-4】

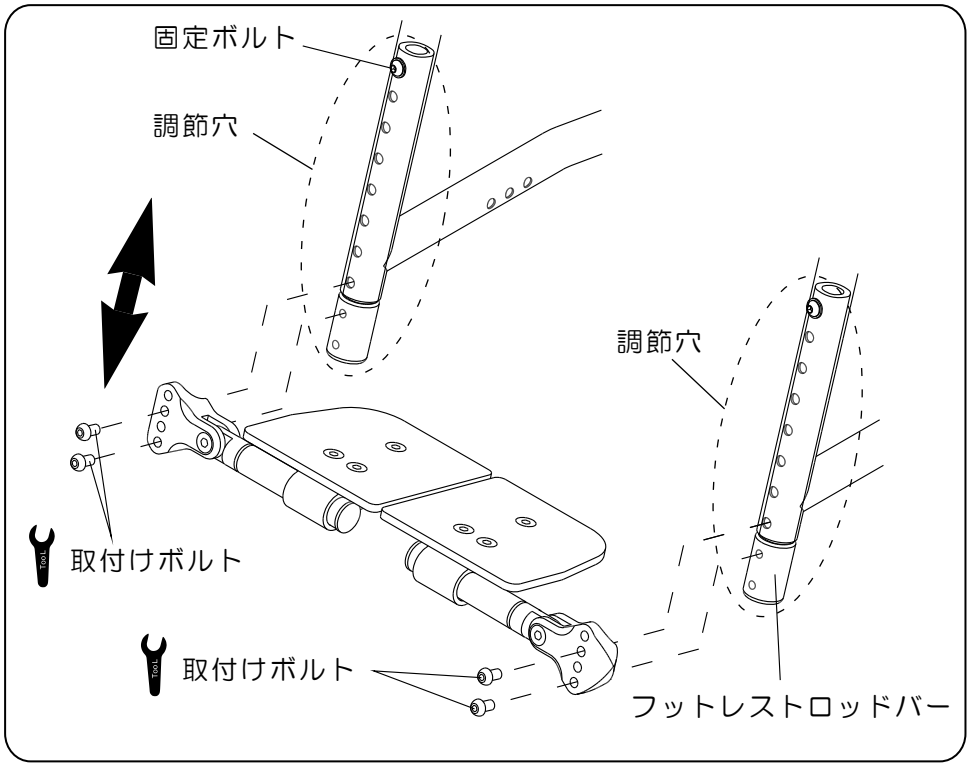
車いすのシート部にクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

1）レッグベルトを外す。(P.42)
2）左右2本づつの取付けボルトを外す。
3）アダプターの固定穴①と③、または固定穴②と④に取付けボルトを差込み、最適な位置の調節穴に合わせて取付ける。
※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。
4）左右2本づつの取付けボルトで締付ける。
5）フットレストから足が後方に落ちないようにレッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.42)

取付けボルト締付けトルク　8N･m(0.8kgf･m)



【図2-3】



【図2-4】

⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
＊段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠警告

必ず取付けボルト2本で固定する。
＊固定力が低下し、ケガや車いすの破損のおそれがあります。必ず取付けボルト2本で固定するようにしてください。

⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さになるように調節する。
＊車いすが破損するおそれがあります。
＊左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でフットレストロッドバー下端の位置を確認してください。

フットレストの調整・点検

＜ハイマウントフットレストの調節可能範囲＞

【図2-5】【図2-6】【図2-7】

ハイマウントフットレストの調節可能範囲は、次の通りです。

最上位置：アダプターの固定穴②と調節穴①及び固定穴④と調節穴②が重なる位置【図2-6】

最下位置：アダプターの固定穴①と調節穴⑨及び固定穴③と調節穴⑩が重なる位置【図2-7】

※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。

⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。

＊段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

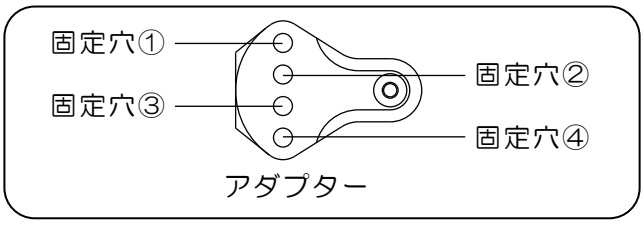
⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さになるように調節する。

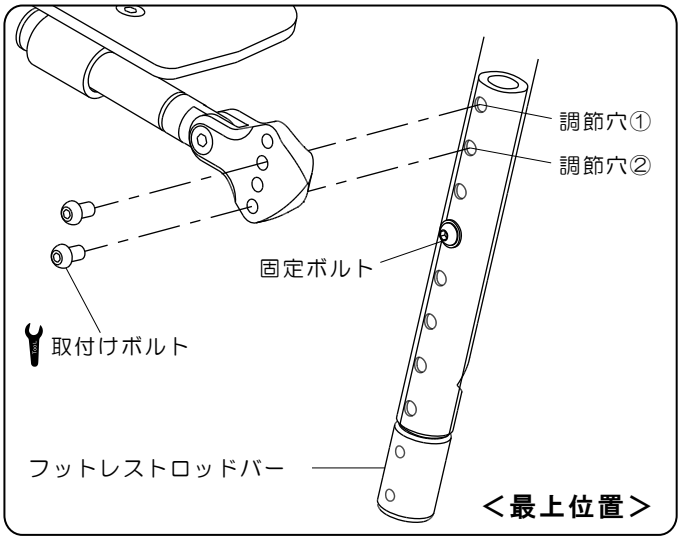
＊車いすが破損するおそれがあります。

＊左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でフットレストロッドバー下端の位置を確認してください。

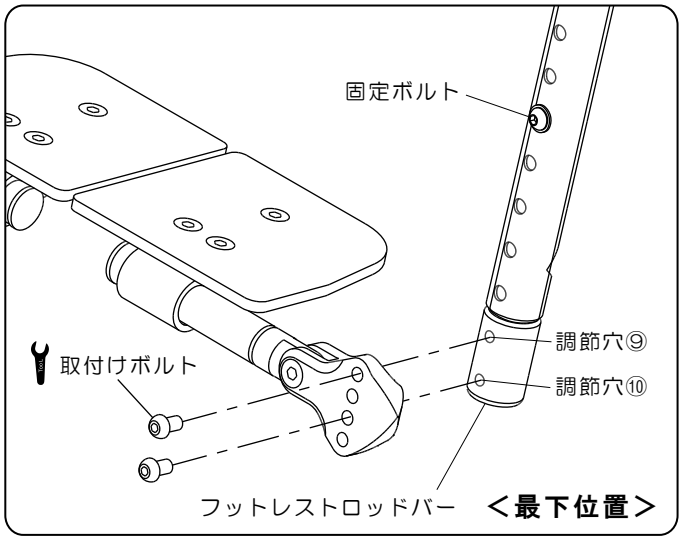
取付けボルト締付けトルク　8N･m(0.8kgf･m)



【図2-5】



【図2-6】



【図2-7】

フットレストの調整・点検

＜フットプレートの角度調整＞【図2-8】【図2-9】【図2-10】

1）①②ボルトを緩める。
2）フットプレートを最適な角度にする。【図2-10】
3）①②ボルトを交互に繰り返し締める。
※交互に繰り返し締めないと確実に締まりません。
4）左右同様にする。
5）フットプレートと地面の間隔が十分確保できているか確認する。
6）車いすを折りたたみ、左右のフットプレート同士が接触していないか、またフレームに接触していないか確認する。

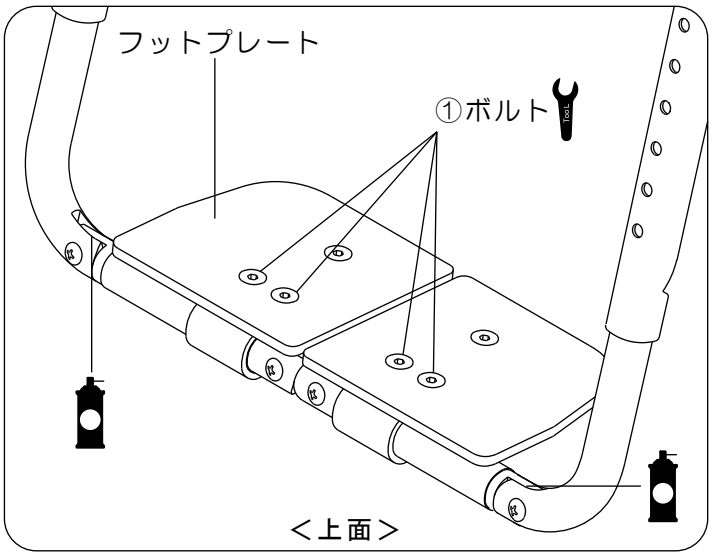
①ボルト締付けトルク　8N･m(0.8kgf･m)
②ボルト締付けトルク　8N･m(0.8kgf･m)

⚠警告

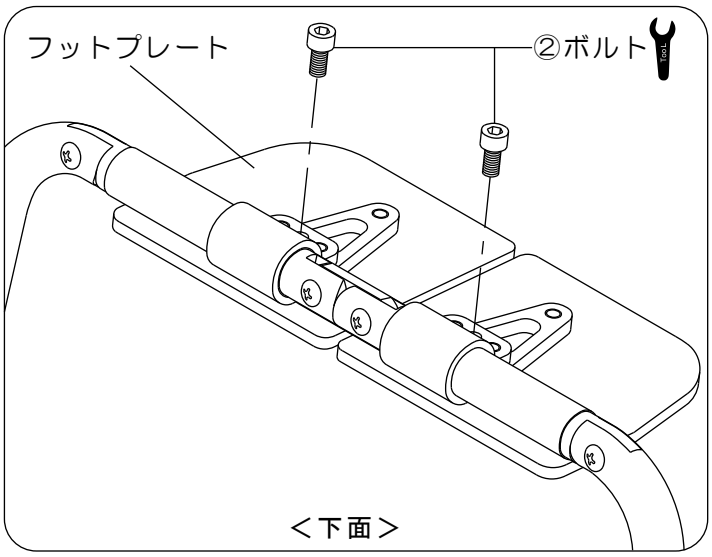
フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
＊段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠注意

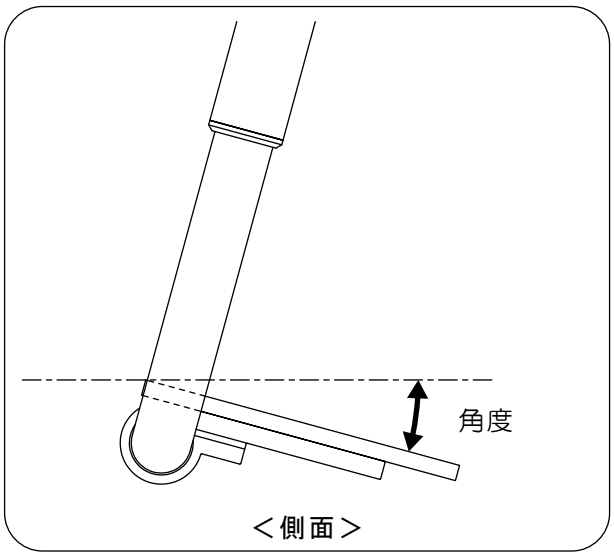
車いすを折りたたんだ状態でフレームや左右のフットプレート同士が接触した状態では使用しない。
＊車いすが破損するおそれがあります。
＊調整後は必ず確認してください。



【図2-8】



【図2-9】



【図2-10】

フットレストの調整・点検

＜セパレートフットレストの角度修正＞

【図2-11】【図2-12】【図2-13】

セパレートフットレストは、フットレストロッドバーとフットプレートの角度を最適な状態に調整することができます。なお、セパレートフットレストのタイプによって調整方法が異なりますので、装着されているフットレストをご確認ください。(P.22)

⚠注意

調整ボルトを緩めすぎない。
＊フットレストが破損します。
＊フットプレートがフットレストロッドバーに対して90°になるように修正してください。

⚠注意

フットレストを折りたたむ際に手をはさまないように注意する。
＊フットプレートとフットレストロッドバーやフレームに、手や指をはさまないようにゆっくりとたたんでください。

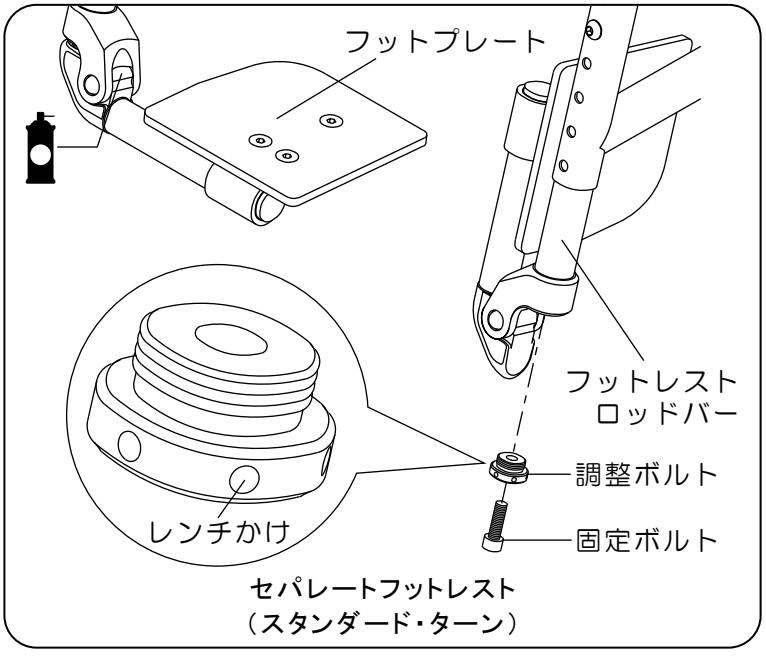
セパレートフットレスト（スタンダード・ターン）【図2-11】

1）フットレストを折りたたむ。
2）フットレストロッドバー下端の固定ボルトを外す。
3）調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-13】
4）調整ボルト側面のレンチかけに、六角レンチ（2㎜）などを差込む。
5）六角レンチ（2㎜）などを回らないように支持しながら、固定ボルトを締付ける。
6）左右同様にする。

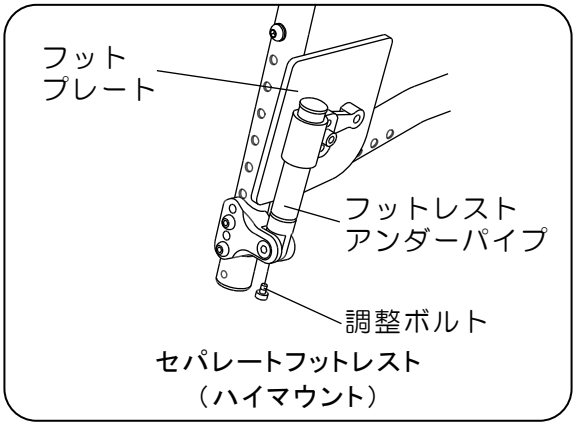
セパレートフットレスト（ハイマウント）【図2-12】

1）フットレストを折り上げる。
2）フットレストアンダーパイプ下端の調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-9】
3）左右同様にする。

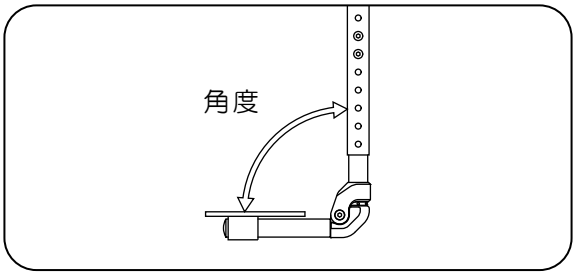
固定ボルト締付けトルク　8N･m(0.8kgf･m)



【図2-11】



【図2-12】



【図2-13】

プレートセパレートフットレスト(ターン)の操作

＜開く＞【図2-14】

1）フットレストを折り上げる。（A）
2）フットレストを引き上げながら、外側に回転させる。（B→C）

＜戻す＞【図2-14】

1）フットレストを内側へ回転させる。（C）
※フットレストを引き上げる必要はありません。
2）フットレストを下げる。（A）

＜フットレストの点検＞

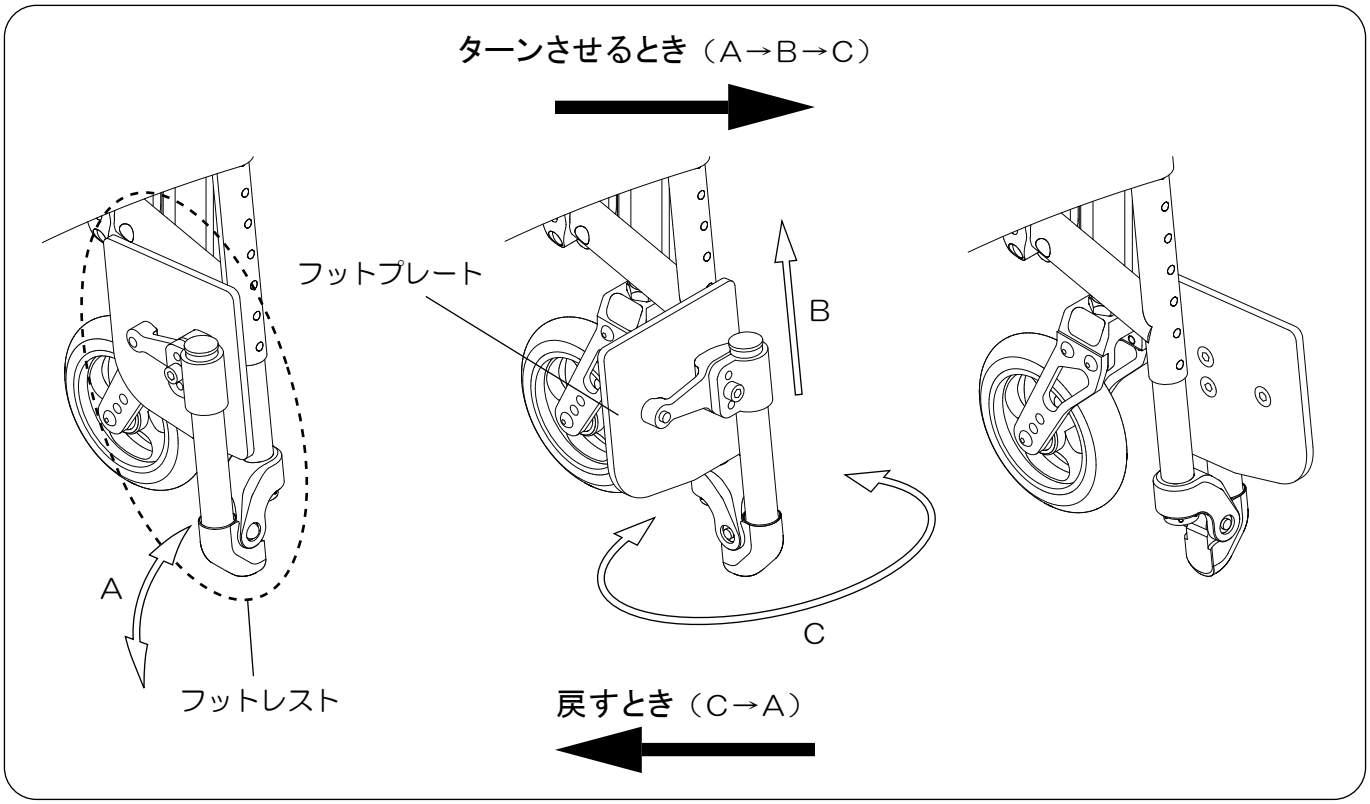
フットプレートにひび割れはないか。
ネジ・ボルトの緩みはないか。

⚠警告

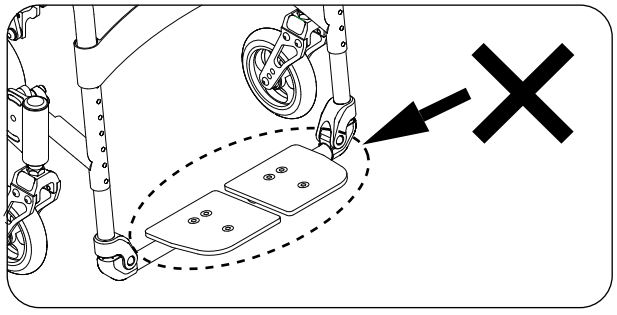
フットプレート部そのものを前方向へ組換えない。
【図2-15】
＊キャスターがロックしてしまい、転倒・転落のおそれがあります。

⚠注意

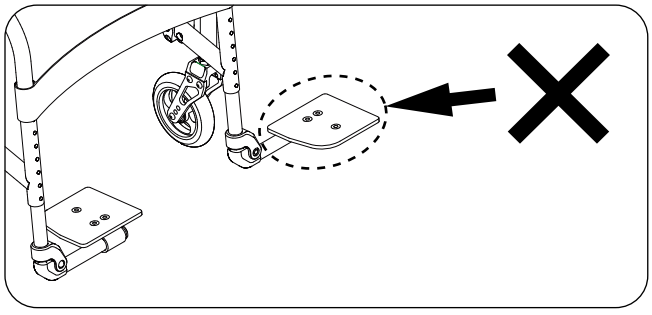
フットレストを外側に開いたまま走行しない。
【図2-16】
＊周りの人や物等と接触し、事故のおそれがあります。



【図2-14】



【図2-15】



【図2-16】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜アウターレザーの着脱（GW-E）＞【図2-17】

取外し方

アウターレザー前面下部から矢印の方向に面ファスナーをはがして行き後方もそのままはがします。

取付け方

取外しと逆の手順で行います。楕円形のワッペンが車いす後方の上部にくるようにアウターレザーを取付けてください。

⚠注意

アウターレザー・アウターレザー1の内蔵スポンジの弾力が無くなってきたら交換する。

＊背中や腰に褥瘡（じょくそう）などができるおそれがあります。

＊スポンジのみの交換はできません。

＜アウターレザーの取外し（YZ-E・mini-E）＞【図2-17】

1）アウターレザー１の面ファスナーをはがして取外す。

2）アウターレザー２の面ファスナーをはがして取外す。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜アウターレザーの取付け（YZ-E・mini-E）＞【図2-17】

アウターレザーの取付け後に、車いすの前後から見てインナーレザーのベルト(P.32)が全て覆い隠されるように取付けてください。

1）アウターレザー2をインナーレザーの後側(車いすの背面)に取付ける。

2）アウターレザー１をインナーレザー上部にかぶせるように取付ける。（アウターレザー１の楕円形のワッペンが車いすの後方から見えるように取付ける）

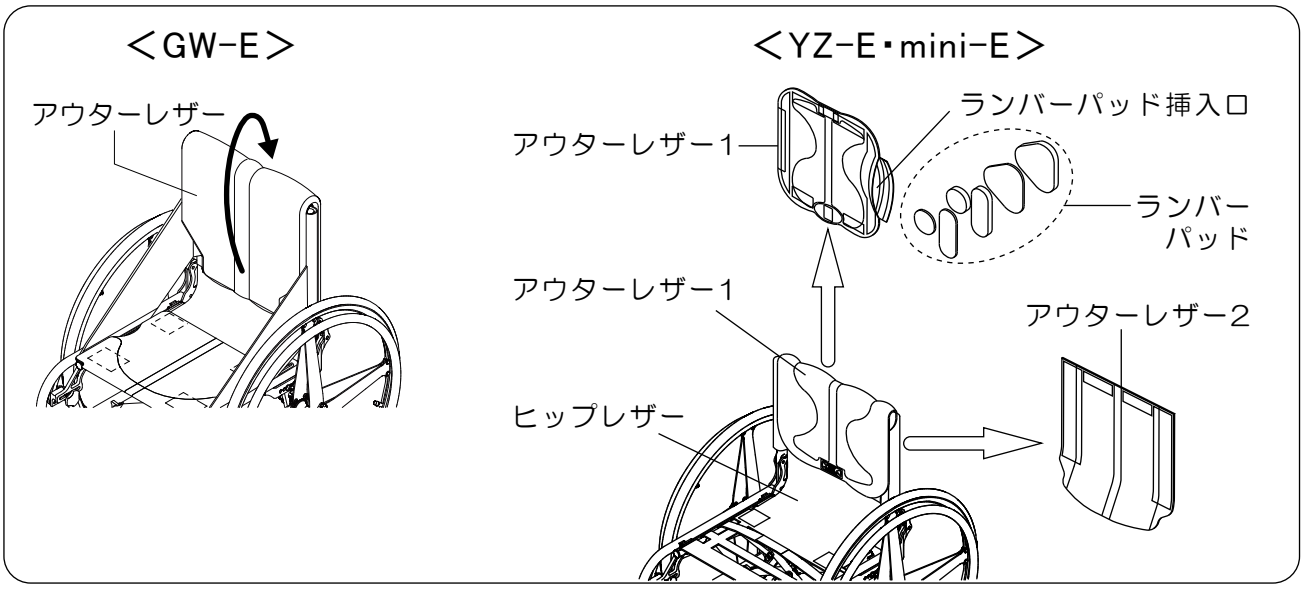
⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜ランバーパッドの交換（YZ-E・mini-E）＞【図2-17】

アウターレザー１の両側にあるランバーパッド挿入口の面ファスナーをはがし、お好みのランバーパッドを挿入してください。なお、重ねて入れ過ぎると折りたたみ幅が広くなることがあります。



【図2-17】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜ヒップレザーの取外し＞【図2-18】

1）アウターレザーを取外す。(P.29)
2）カバーシートレザーの後方２か所の面ファスナーをはがす。
3）ヒップレザーのバックレスト側の面ファスナーをはがす。
4）ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがす。

⚠注意

ヒップレザーの張りは乗車姿勢に影響するので正しく調整する。

＜ヒップレザーの取付け＞【図2-18】

ヒップレザーには向きがあります。取付けの際は注意してください。

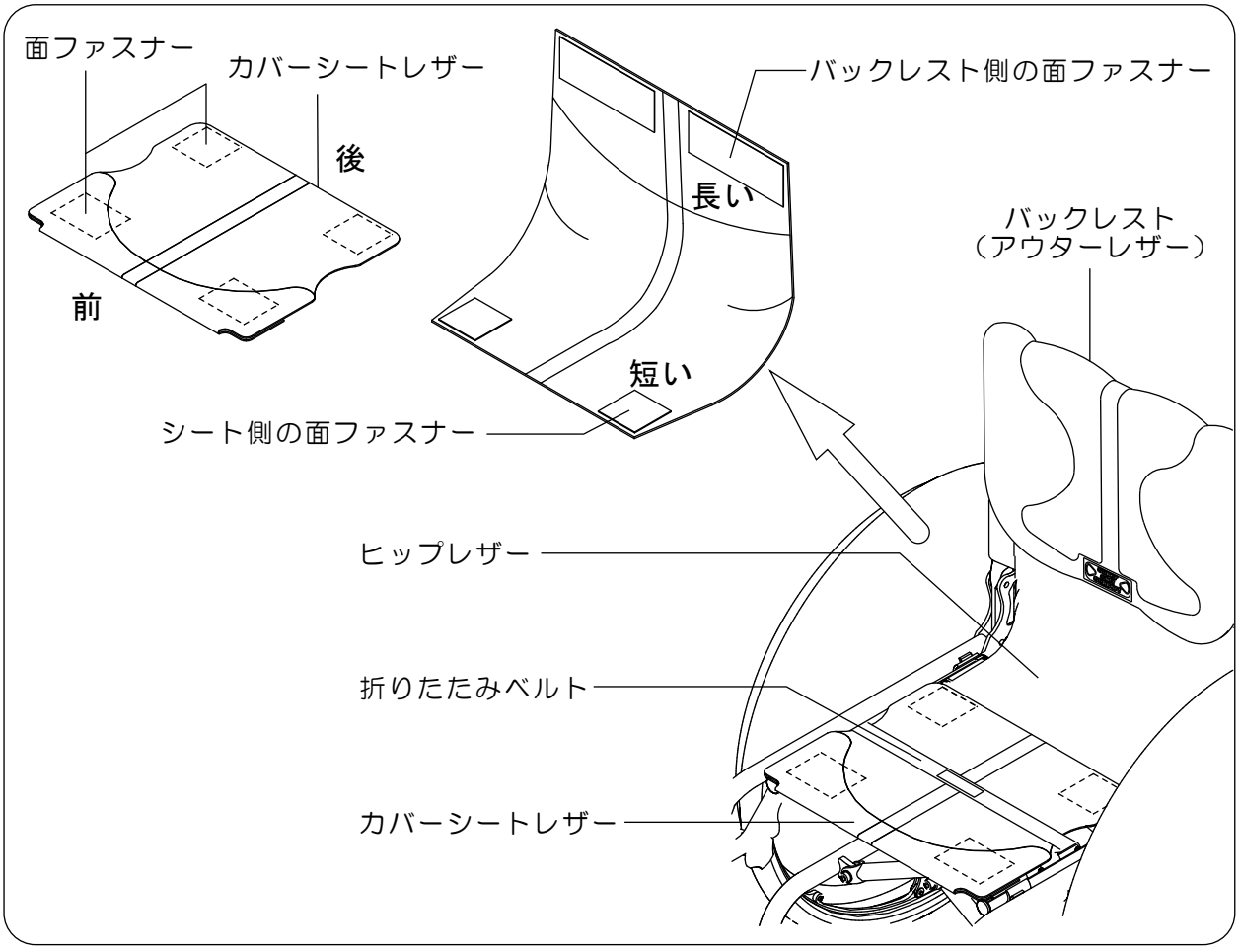
1）ヒップレザーのシート側の面ファスナーを貼付ける。
2）ヒップレザーを最適な乗車姿勢になるように調整してバックレスト側の面ファスナーを貼付ける。
3）カバーシートレザーの面ファスナーを貼付ける。
4）アウターレザーを取付ける。(P.29)

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-18】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜サイドレザーの取外し＞【図2-19】

1）アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.29･30)
2）サイドレザーの面ファスナーをはがす。
3）ベルトの面ファスナーをはがす。
4）車いすを少し折りたたんだ状態にする。(P.14)
5）全てのプッシュリベットを取外す。
6）サイドレザーからレールを引抜く。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドレザーとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。
＊サイドレザーを破損するおそれがあります。

＜サイドレザーの取付け＞【図2-19】

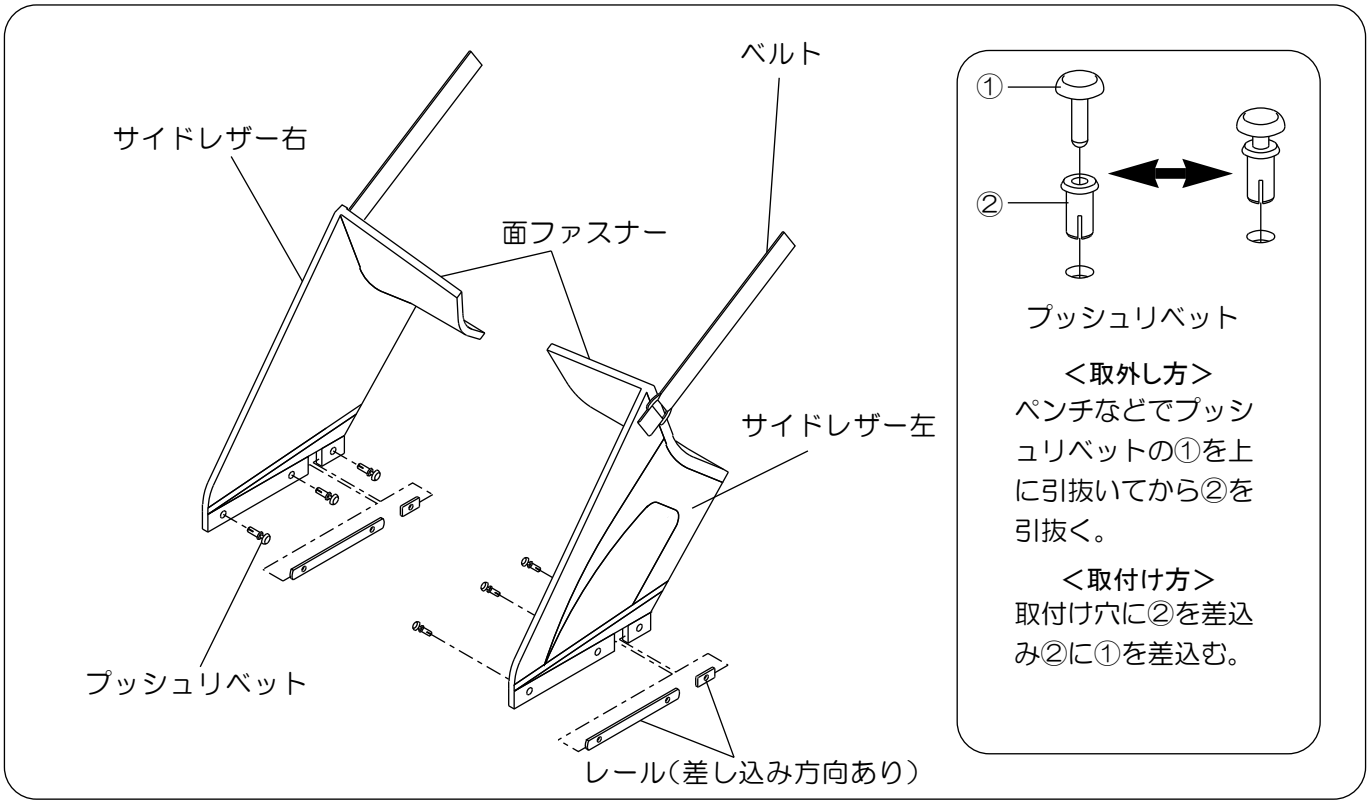
1）車いすを少し折りたたんだ状態にする。(P.14)
2）サイドレザーとレールの穴が合うようにレールを差込む。
3）全てのプッシュリベットをサイドレザーの穴に差込み、フレームに取付ける。
4）車いすを開いた状態にする。(P.14)
5）サイドレザーを最適な張りにしながら、面ファスナーを貼付ける。
6）ベルトを適切な張りと角度にしながら面ファスナーをバックレスト後部に貼付ける。
7）アウターレザーとヒップレザーを取付ける。(P.29･30)

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

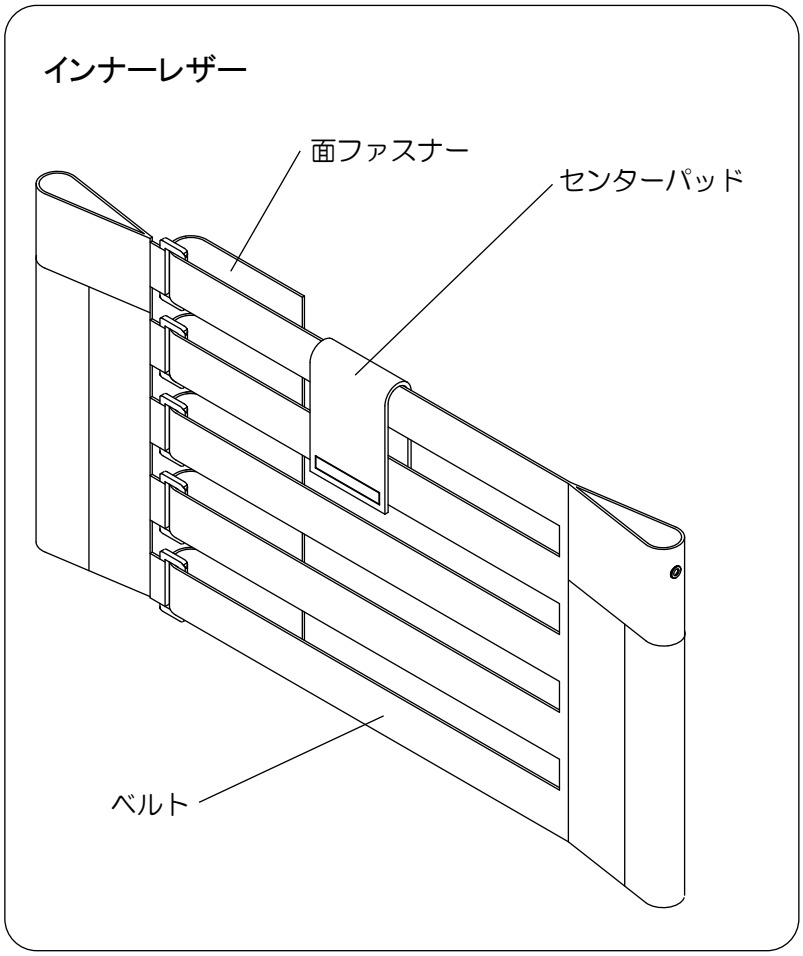


【図2-19】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜インナーレザーの調整＞【図2-20】

1）アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.29･30)
2）サイドレザーの面ファスナーとベルトをはがす。(P.31)
3）インナーレザー上下各部のベルトを最適な張りに調整する。
4）センターパッドを背骨が当たる位置に移動する。
5）サイドレザーの面ファスナーを貼付ける。(P.31)
6）アウターレザーとヒップレザーを取付ける。(P.29･30)



【図2-20】

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

インナーレザーの張り調整は「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。
＊車いすが破損するおそれがあります。
＊車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜インナーレザーの取外し＞【図2-21】

1）アームレストを取外す。(P.40)
2）アウターレザー(P.29)とコーナーパッド(グリップ未装着車のみ)を取外す。
3）ヒップレザーを取外す。(P.30)
4）サイドレザーのバックレスト側の面ファスナーとベルトをはがす。(P.31)
5）左右の取付けネジを取外す。
6）インナーレザーを上に引き抜く。
※グリップ装着車の場合は＜バックレスト高の調整・着脱＞(P.34)を参照し、グリップを引抜いた後、インナーレザーを上に引抜く。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

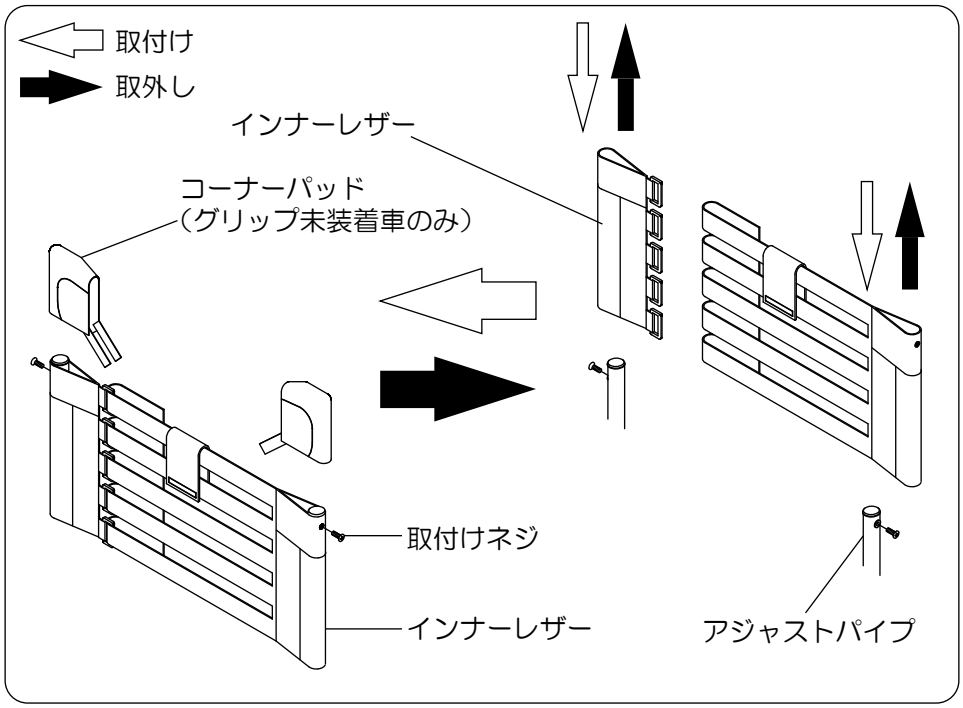
⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜インナーレザーの取付け＞【図2-21】

1）バックレストにインナーレザーを差込む。
2）インナーレザーの左右を取付けネジでアジャストパイプに固定する。
3）＜インナーレザーの調整＞(P.32)を行う。
4）サイドレザー(P.31)とヒップレザー(P.30)を取付ける。
5）コーナーパッド(グリップ未装着車のみ)を取付け、アウターレザー(P.29)を取付ける。
6）アームレストを取付ける。(P.40)

取付けネジ締付けトルク　4N･m(0.4kgf･m)



【図2-21】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜バックレスト高の調整・着脱＞【図2-22】

オプションの「グリップ」の付いたバックレストも同様の調整方法です。

1）アームレストを取外す。(P. 40)
2）アウターレザーを取外す。(P. 29)
3）インナーレザーのフラップの面ファスナーをはがす。
4）③ネジを外して、インナーレザーを押し下げ、①ネジ、②ナット、ワッシャーを露出させる。
5）①ネジ、②ナット、ワッシャーを外す。
6）アジャストパイプをスライドさせて最適な高さに調節する。
7）①ネジを固定穴と調節穴に通し、②ナット、ワッシャーで締付ける。
8）反対側も同様に同じ高さに調節する。
9）③ネジを取付ける。
10）インナーレザーのフラップの面ファスナーを貼付ける。(P. 29)
11）アームレストを取付ける。(P. 40)

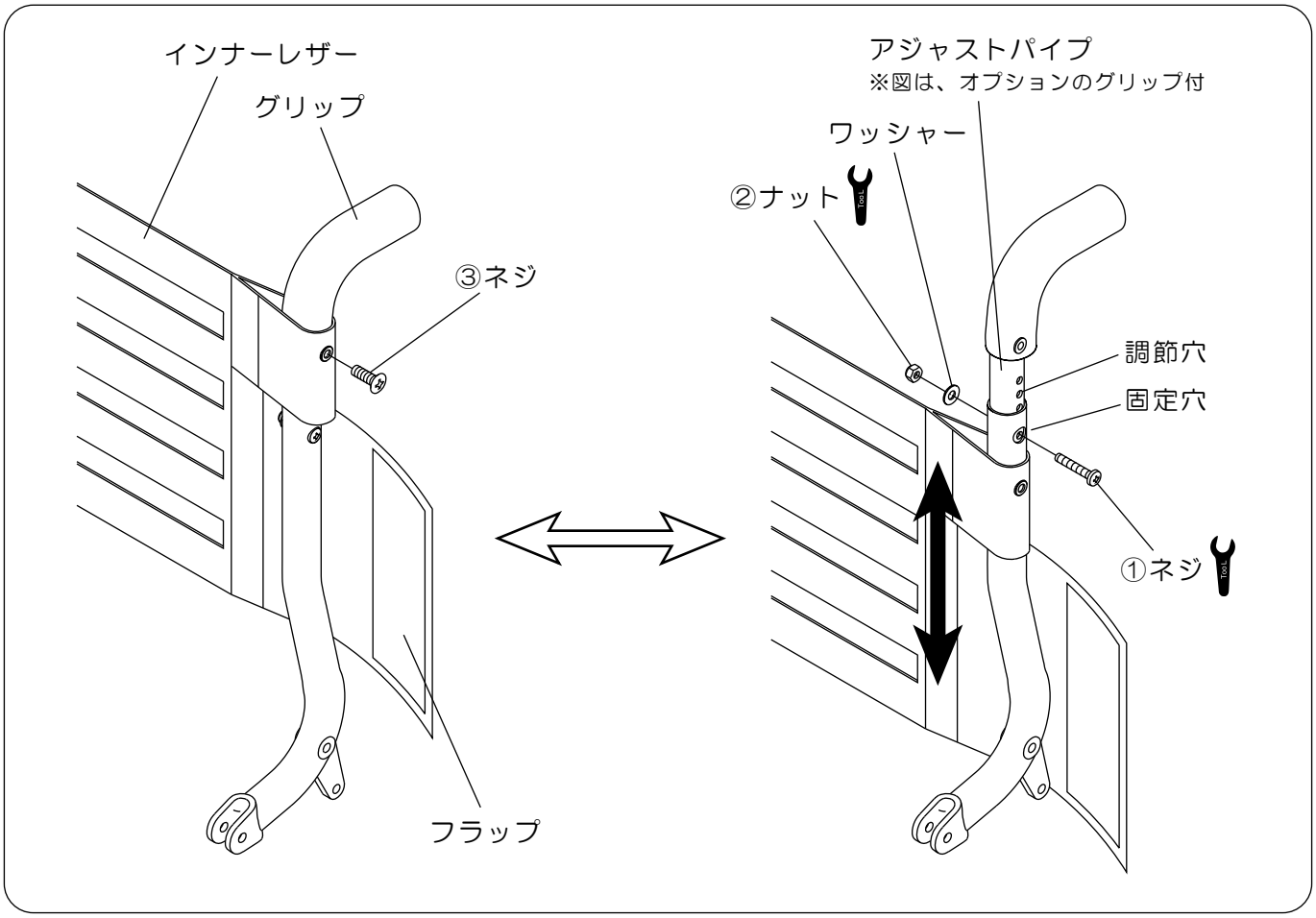
⚠注意

左右のバックレスト高は必ず同じにする。
＊車いすが破損するおそれがあります。
＊アジャストパイプの調節穴の位置を左右で合わせてください。

⚠注意

フラップの面ファスナーは確実に貼付ける。
＊インナーレザーが破損するおそれがあります。
＊ベルトの張りが適切にならず、褥瘡(じょくそう)などができるおそれがあります。

①ネジ締付けトルク　6N･m(0.6kgf･m)
③ネジ締付けトルク　4N･m(0.4kgf･m)



【図2-22】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜シートレザーの張り調整＞【図2-23】

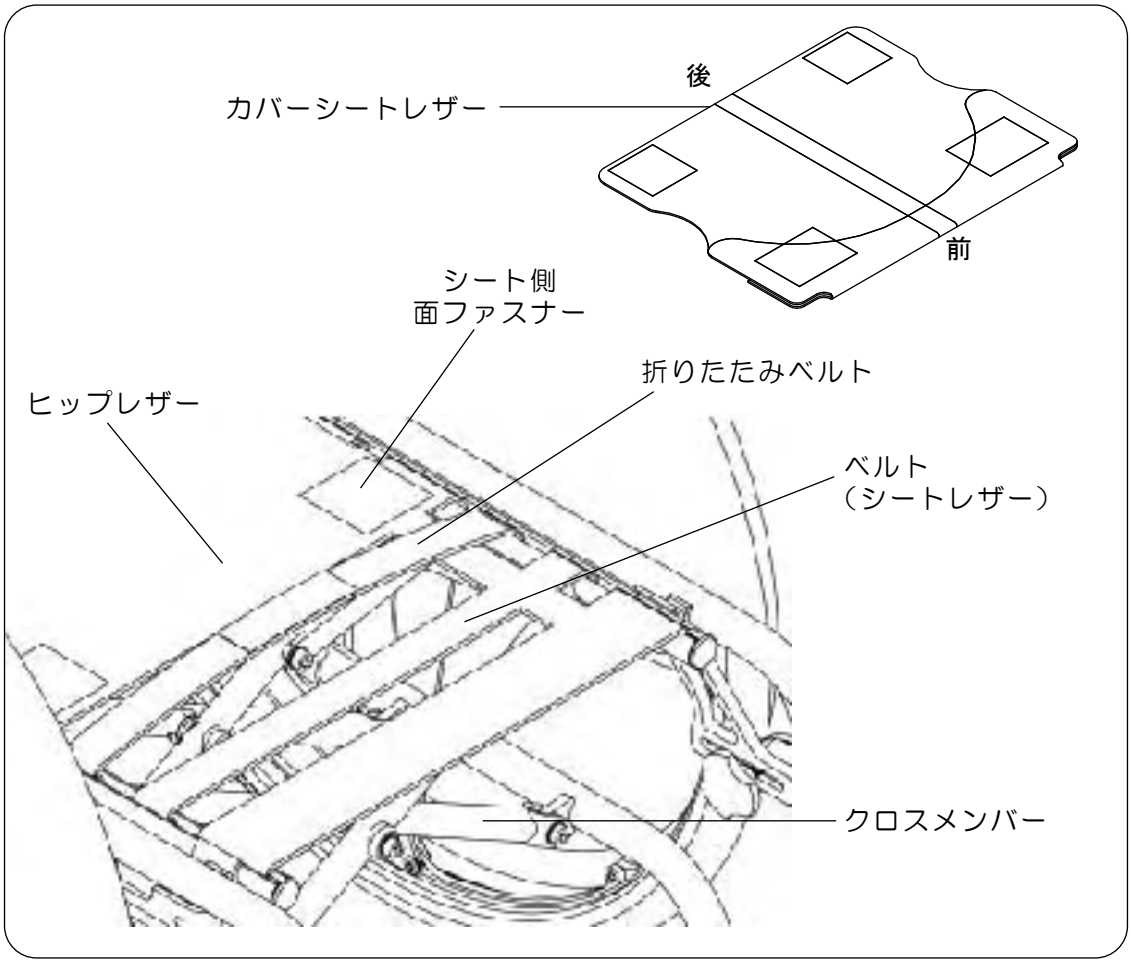
1）カバーシートレザーを取外す。
2）ベルト（シートレザー）下側の面ファスナーで前後各部のベルトと折りたたみベルトの張りを調整する。
3）シートパイプが「受け」にしっかりと乗っていることを確認する。(P.15)
※シートパイプが浮いていると、クロスメンバーの破損につながります。必ずシートパイプは「受け」に乗せてください。
4）ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがし、ベルト（シートレザー）の張りに合わせて貼りなおす。
5）カバーシートレザーを折りたたみベルトの下を通して取付ける。

⚠注意

シートレザーの張り調整は「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。
＊車いすが破損するおそれがあります。
＊フレームなど硬い部分が身体に接触し、褥瘡（じょくそう）などができるおそれがあります。
＊車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

＜レザーの点検＞

乗車前に必ず、自分の状態に最適な張り調整になっているか点検してください。



【図2-23】

キャスターの調整・点検

※キャスターの調整は誤った調整を行うと大変危険ですので、必ずお買い求めになった販売店もしくは当社営業所にて調整を行ってください。

＜キャスター角の調整（YZ-E）＞

【図2-24】【図2-25】【図2-26】【図2-27】【図2-28】

※ボルトBは緩めないでください。

1）ボルトAを緩める。
2）市販のゲージを当てながらキャスターホルダーを垂直にする。
3）【図2-28】の上下の「W」の幅が同じになるように注意しながら、４本のボルトAを【図2-25】で示す①～④の順に、数回に分けて均等に締める。
※一箇所のボルトだけを一度に締めると、キャスター角がずれ、キャスターホルダーの固定力が不十分になるおそれがあります。
4）左右同様に調整する。

ボルト締付けトルク　10N･m(1.0kgf･m)

⚠警告

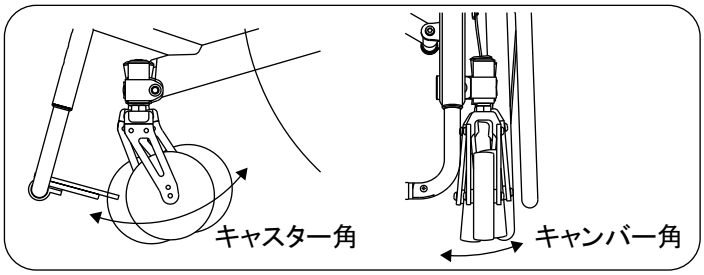
ボルトは必ず規定トルクで締める。
＊キャスターが回転・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

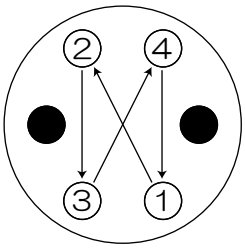
ボルトBは緩めない。
＊ボルトBを緩めると、キャスターのキャンバー角【図2-24】がずれ、キャスターが破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

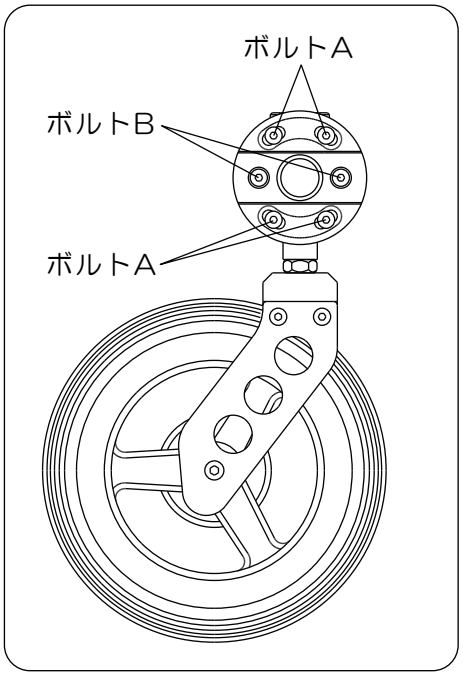
ボルトAは数回に分けて締める。
＊4本のボルトAを均等に締めないと、キャスター角がずれたり、キャスターホルダーの固定力が不十分になり、キャスターが破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。



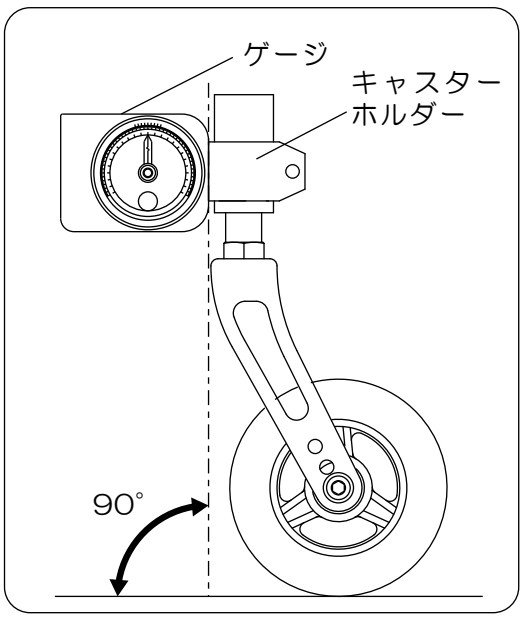
【図2-24】



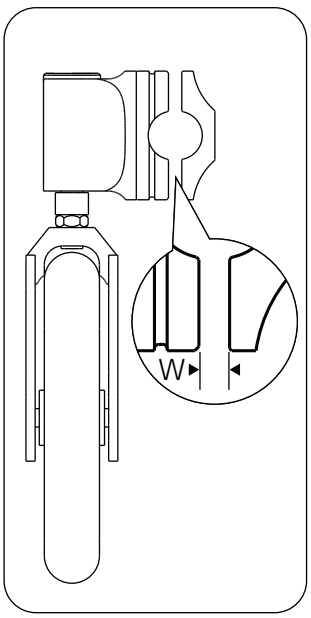
【図2-25】



【図2-26】



【図2-27】



【図2-28】

キャスターの調整・点検

＜ハイトの調整（mini-E）＞【図2-29】【図2-30】

主に車軸位置やホイール、キャスターホイール径の変更による前後差（前座高と後座高の差）の変化を修正するために行います。

1）ボルトを緩める。
2）aを下にさげる。
3）aの溝からCリングを外す。
4）６箇所の溝の中から最適な高さになる溝にCリングをはめる。
5）bの下側の段付き面にCリングが当たるまでaを下から差込む。
6）ボルトを締める。
7）反対側も同じ高さになるように調節する。
8）キャスター角の調整をする。(P.38)

⚠警告

ボルトは必ず規定トルクで締める。
＊キャスターが脱落・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

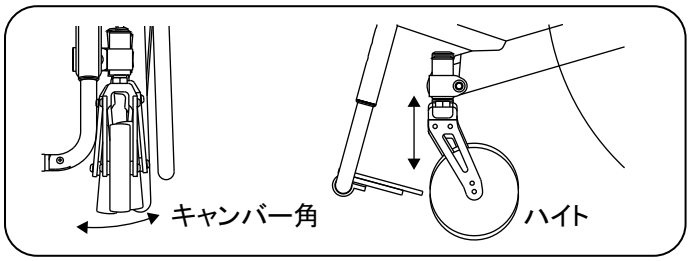
⚠警告

必ず段付き面にCリングが当たるまで「a」を差込む。
＊キャスターが脱落・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

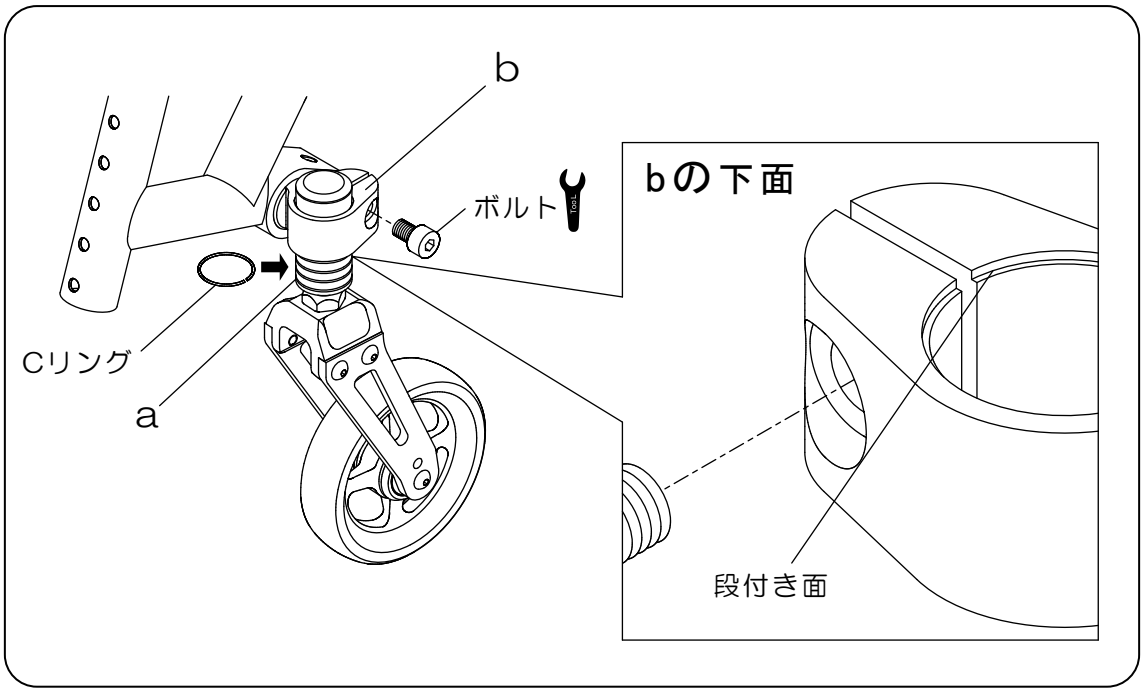
＜キャンバー角の調整＞【図2-29】

通常は必要ありません。調整が必要な場合は、販売店にご依頼ください。

ボルト締付けトルク　10N・m（1.0kgf・m）



【図2-29】



【図2-30】

キャスターの調整・点検

⚠警告

ボルトは必ず規定トルクで締める。
＊キャスターが回転・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

「A」の突き出し量は必ず0～5㎜以内にする。
＊キャスターが抜け転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

キャスターホルダーは、必ず地面に対して垂直にする。
＊車いすが破損して、事故や転倒、転落のおそれがあります。

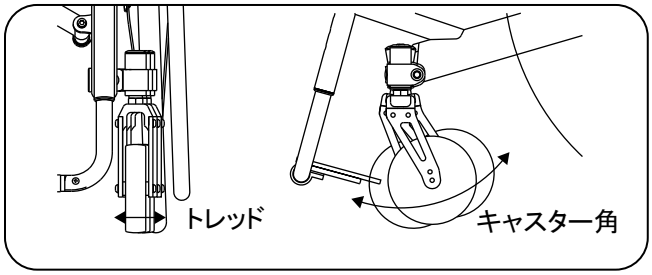
＜キャスター角の調整(mini-E)＞【図2-31】【図2-32】【図2-33】

1）ボルトを緩める。
2）市販のゲージを当てながらキャスターホルダーを垂直にする。
3）フレーム内側の突き出し量「A」が規定範囲内（下記＜トレッドの調整＞参照）であることを確認する。
4）ボルトを締める。
5）左右同様に調整する。

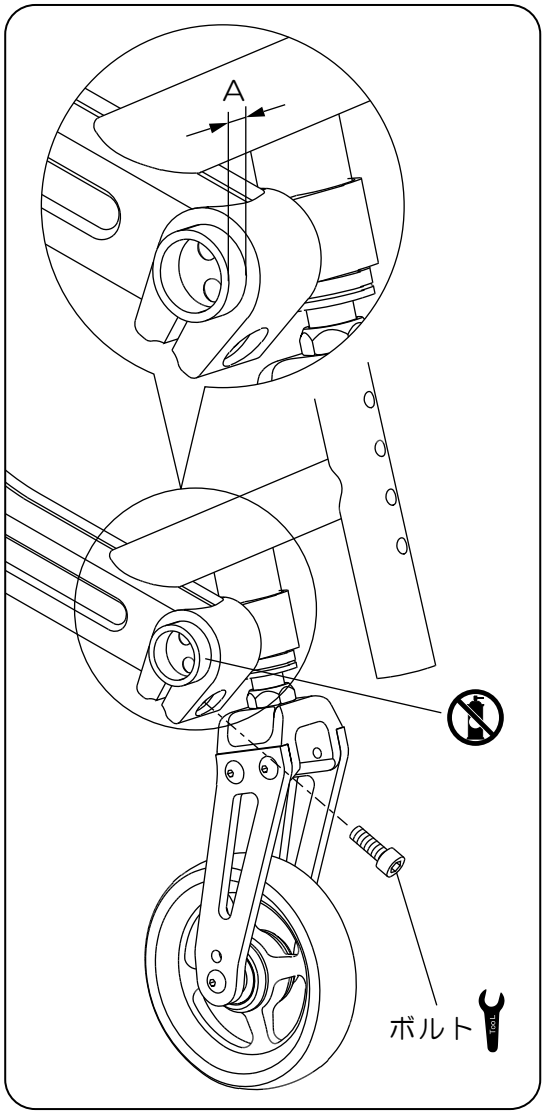
＜トレッドの調整(mini-E)＞【図2-31】【図2-32】

上記＜キャスター角の調整＞同様にボルトを緩め、キャスターのトレッドを調整してボルトを締めます。**この時フレーム内側の「A」の突き出し量は、必ず0～5㎜以内で調整してください。**
調整後は必ず上記＜キャスター角の調整＞を行ってください。

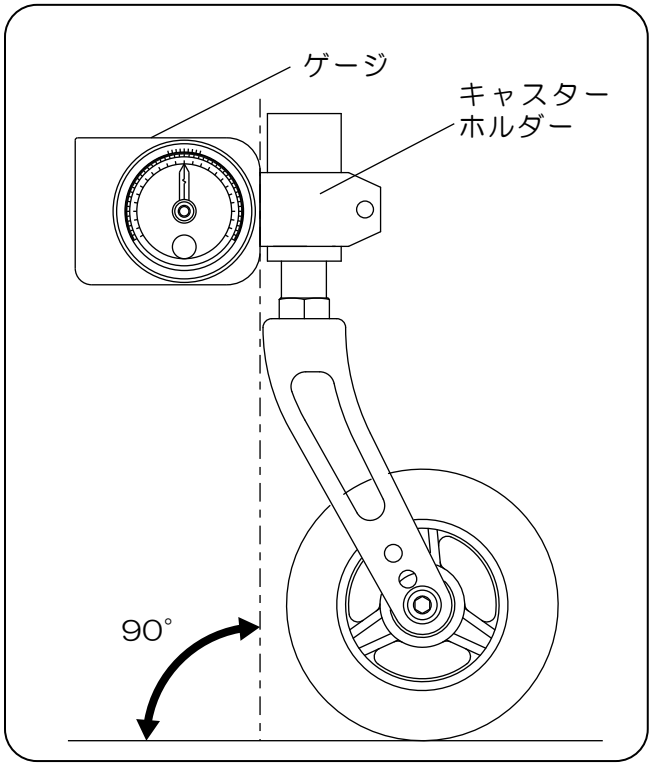
ボルト締付けトルク　25N･m(2.5kgf･m)



【図2-31】



【図2-32】



【図2-33】

キャスターの調整・点検

＜キャスター角の調整（GW-E）＞【図2-34】

1）ボルトを少し緩める。
2）キャスターホルダーが地面に対して垂直になる位置でボルトを締付ける。
3）反対側も同様に調整する。

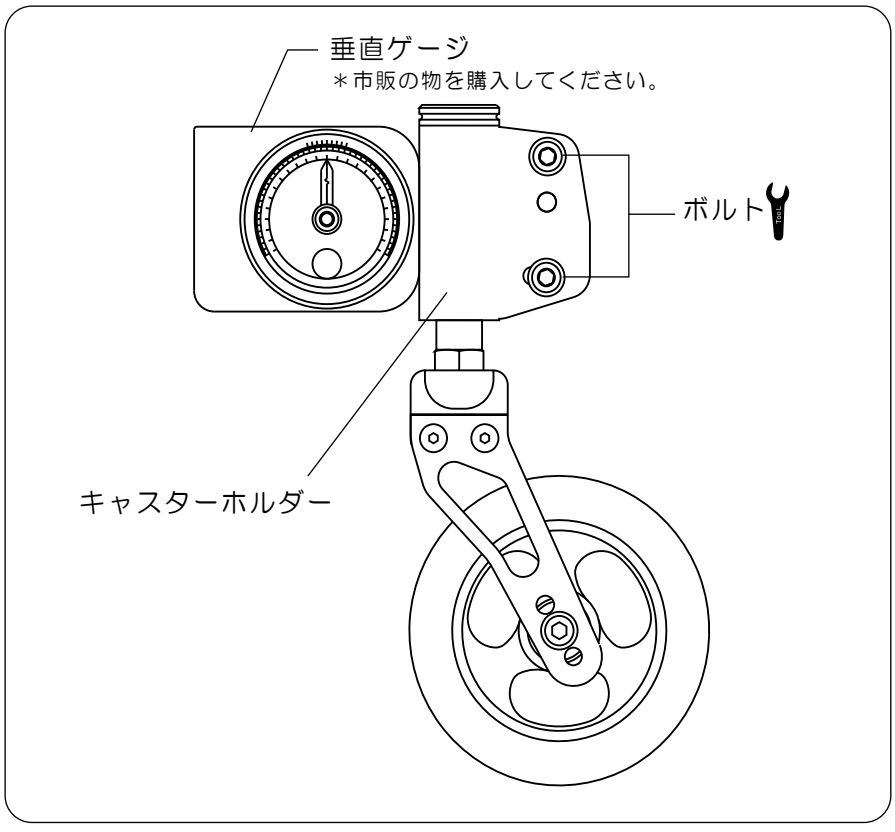
⚠警告

キャスターホルダーは、必ず地面に対して垂直にする。
＊車いすが破損して、事故や転倒・転落のおそれがあります。

＜キャスターの点検＞

ボルトの緩みはないか。
曲がり、亀裂、破損、異音、ガタつき、回転不良などはないか。
ゴムは十分に残っているか。
※異常がある場合は使用を止め、販売店、または当社までご相談ください。

ボルト締付けトルク　10N･m（1.0kgf･m）



【図2-34】

アームレストの調整・点検

＜アームレスト高の調節＞【図2-35】

1）ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーを外す。
2）最適な位置の調節穴に固定穴を合わせる。
3）ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーで締付ける。
※このときスペーサーがアームレストホルダーの調節穴(大)に収まるように締付けます。
4）反対側も同様に調節する。

※mini-Eの右アームレストは仕様が異なりますので下図を参照してください。

⚠警告

ボルトを締付ける際は図の順序で組付ける。
＊アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。

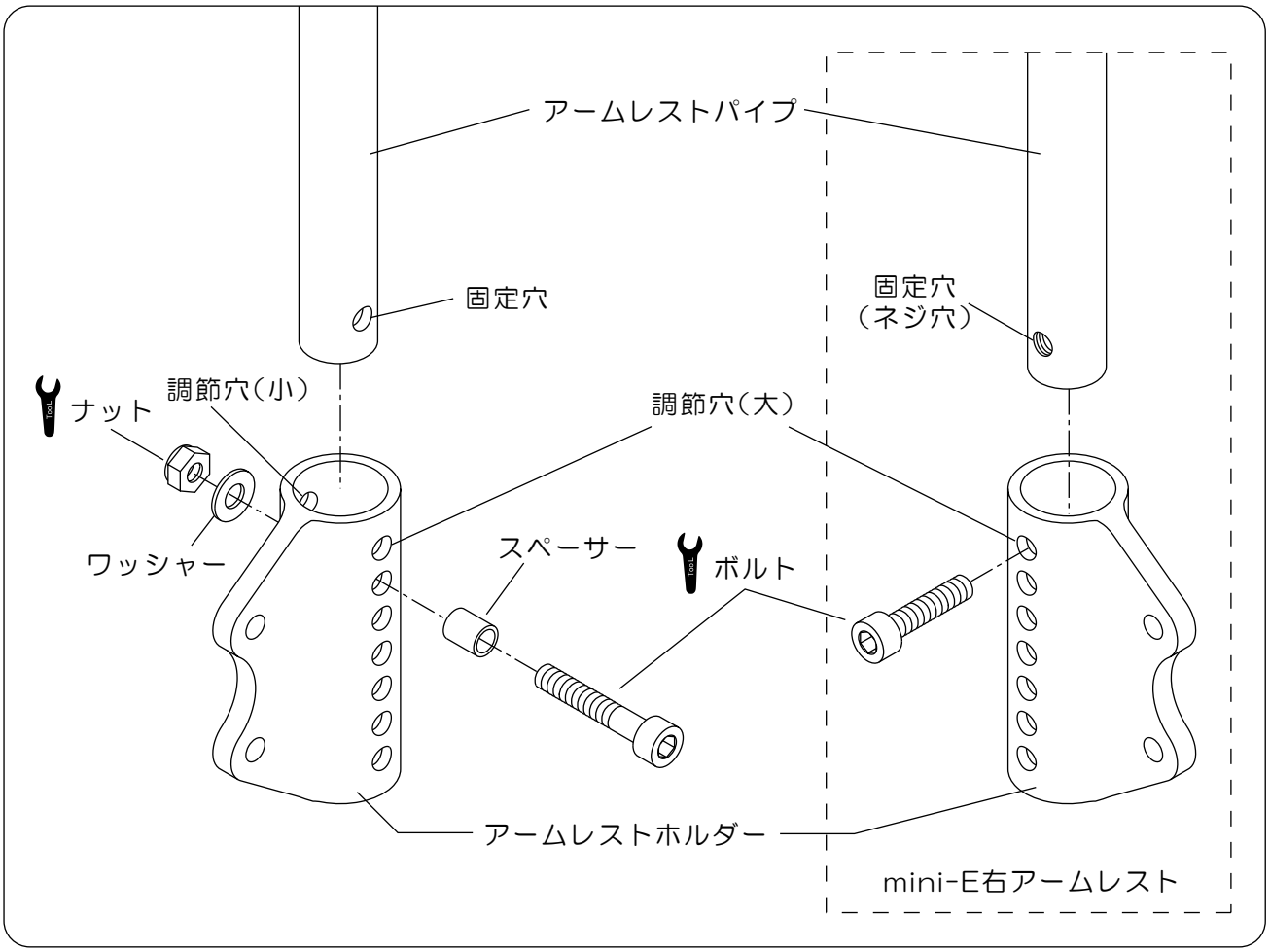
⚠警告

ボルトはスペーサーを調節穴(大)に収めてから締付ける。
＊アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。
＊ボルトとアームレストパイプにスペーサーをはさみこむように締付けます。

＜アームレストの点検＞

極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩みがないか点検してください。

ボルト締付けトルク　10N･m(1.0kgf･m)



【図2-35】

その他の調整・点検

＜SFR2の調整＞【図2-36】【図2-37】

1）車いすに乗らない状態で、左右のSFR2の、【図2-36】で示す「A」の寸法を測定する。

2）普段の乗車姿勢で車いすに乗った状態で、１）と同様に【図2-36】の「A」の寸法を測定する。

※１）と２）の寸法の差は、５㎜程度が基本的な硬さです。

3）１）と２）の寸法の差が５㎜程度でない場合、アジャストナット【図2-36】を付属の工具を使い、次のとおり調整する。

※５㎜より小さい場合:【図2-37】の「柔らかくなる」方向へ回す。

※５㎜より大きい場合:【図2-37】の「硬くなる」方向へ回す。

※アジャストナットの調整は１回あたり、1/2～1/4回転までとしてください。

※左右共、基本的な硬さ（上記１）と２）の寸法差が５㎜程）となるまで調整を繰り返してください。

4）調整後、実際に車いすを走行させ、乗り移り等も十分考慮したうえで最適な硬さであることを確認する。

＜SFR2の調整範囲＞【図2-37】【図2-38】

「柔らかくなる」方向

アジャストナットを【図2-37】の「柔らかくなる」方向へあまり力を入れずに回して止まったところが最も柔らかい状態です。それ以上は無理に回さないでください。

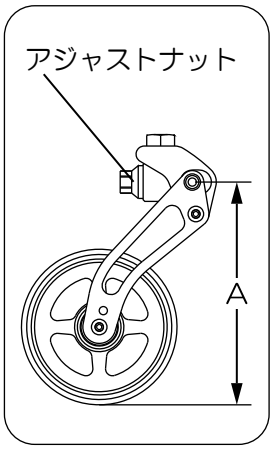
「硬くなる」方向

アジャストナットを【図2-37】の「硬くなる」方向へ回して、【図2-38】のMAXラインまでの範囲内で調整してください。

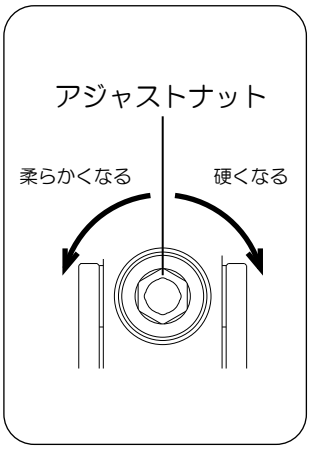
＜ゴムダンパーについて＞

●サスペンションケースのゴムダンパーは、初期のなじみによりサスペンションが柔らかくなりやすいので、適時に上記の調整を行ってください。

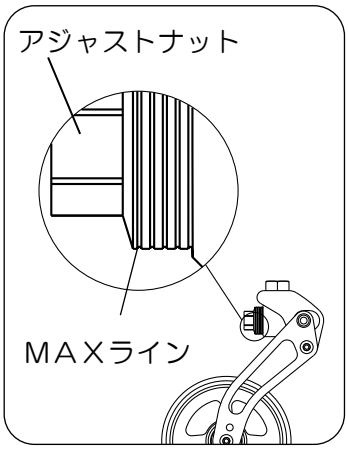
●ゴムダンパーは消耗品です。機能が低下した場合は交換してください。



【図2-36】



【図2-37】



【図2-38】

⚠警告

測定・調整は介助者等に行ってもらう。

＊無理な姿勢での作業は、バランスを崩し転落等のおそれがあります。

⚠警告

測定・調整は左右のキャスターが同様となるようにする。

＊左右の設定が異なった状態では、直進性が低下します。著しく異なる場合バランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。

⚠警告

サスペンションの硬さの調整は一度に大きく変えない。

＊硬さが一度に大きく変化するとバランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。

⚠警告

基本の硬さから柔らかくしすぎない。

＊乗り移り等で車いす前方に加重をかけた場合バランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。

⚠警告

分解・改造等はしない。

＊キャスターフォークが破損し、事故・転落等のおそれがあります。

⚠注意

アジャストナットを無理に回さない。

＊アジャストナットの調整範囲をこえて無理に回そうとするとキャスターフォークを破損するおそれがあります。

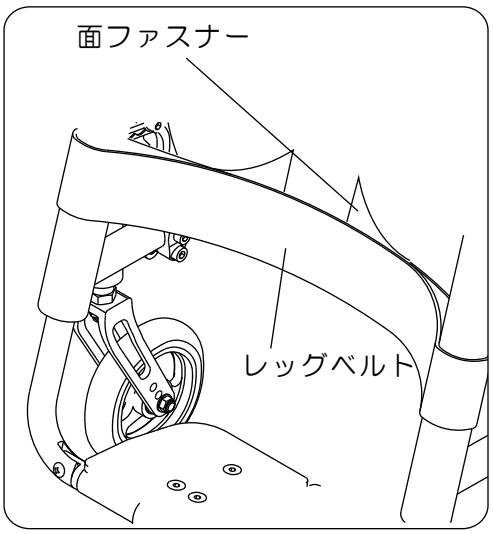
その他の調整・点検

＜レッグベルトの着脱＞【図2-39】

取外し：レッグベルト裏側左右の面ファスナーをはがす。

取付け：最適な位置に面ファスナーを貼付ける。

※面ファスナーの貼付けしろは左右均等な長さになるようにしてください。



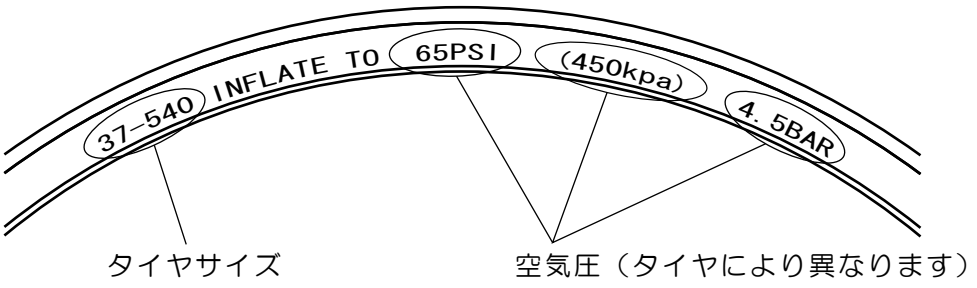
【図2-39】

＜タイヤの点検＞

1.亀裂、損傷、異物、溝の深さ、異常な磨耗などを点検します。

2.タイヤに異常がある場合はお買い求めの販売店で点検・整備を受けてください。

3.空気圧は適切か点検してください。



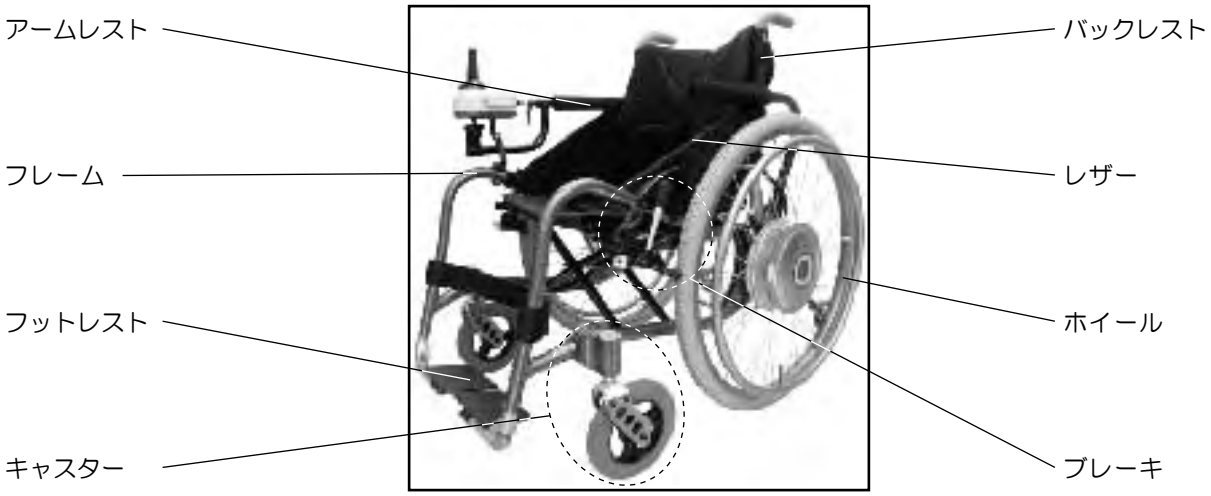
※十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。
（図の数値は表示の例）

※使用する空気入れのメーター表記にしたがいタイヤに表記された空気圧の指示に合わせてください。

⚠注意

○パンクしたまま使用しないでください。
○空気圧が少ないと車いすの操作が重くなり、パンクしやすくなります。
○空気圧が少なすぎると、リムからタイヤが外れるおそれがあります。
○空気圧が多すぎると気圧や温度の変化でパンクするおそれがあります。
○お好みによる空気圧の調整は、適正空気圧のマイナス１０％以内にしてください。
○左右の空気圧は同一にしてください。

日常・定期点検



＜日常点検＞

乗車前には、必ず次の点検を行ってください。
異常があった場合は、各部の調整を行ってください。
調整に不安がある方や、調整しても直らない場合はご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。
また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

・全体的に極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩み、ひび割れや極端な変形はないか。
・ブレーキの効き具合は適切か。
・タイヤの空気圧は十分か。
・レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。

※1か月に1回を目安として、ネジ・ボルトの緩みの点検、注油を行ってください。

＜定期点検＞

1年に1回を目安として、必ず次の点検を行ってください。
異常があった場合は、各部の調整を行ってください。
調整に不安がある方や、調整しても直らない場合はご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。
また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

・全体的に極端に大きなガタつきはないか。
・ひび割れや変形している箇所はないか。
・ブレーキの動作に問題はないか。
・タイヤの空気圧は十分か。タイヤの溝は十分残っているか。
・レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。
・キャスターやホイールに引っ掛かりや大きなブレなどの回転不良はないか。
・ネジ・ボルトの緩みはないか。

4章
その他

この章では、各車いすの仕様諸元とお客様ご相談窓口のご案内を記載しています。

仕様諸元

お客様ご相談窓口のご案内

YZ-E 仕様諸元（単位：mm）

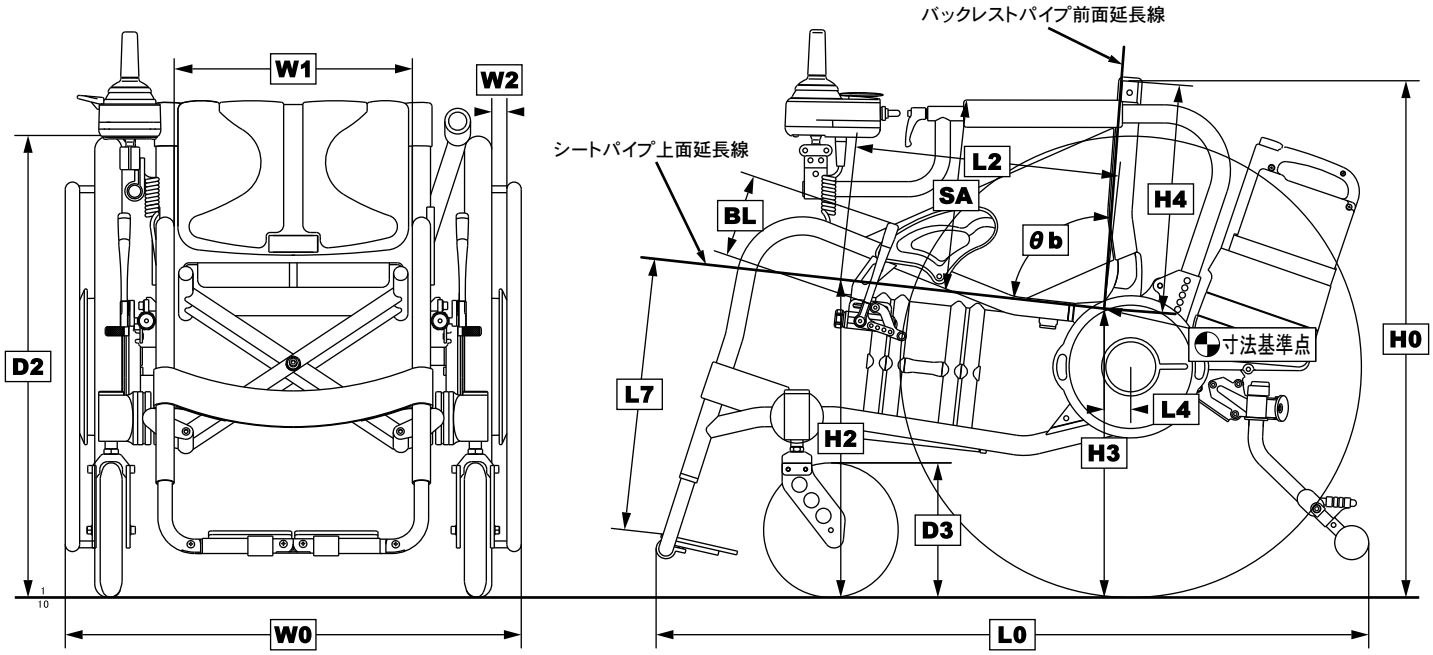
L0	全長	940
H0	全高	682
H2	前座高	シート奥行350=420 / 380=424 / 420=428
H3	後座高	382
L2	シート奥行	350･380･420
W1	シート幅	275～415(20mmﾋﾟｯﾁ)※規格寸法は280～420(20mmﾋﾟｯﾁ)
W0	全幅	570
	折りたたみ幅	380
H4	バックレスト高	ロータイプ=300～350 / ミディアムタイプ=350～400 / ハイタイプ=400～450 (10mmﾋﾟｯﾁ･可変)
θb	バックレスト角	73°･80.5°･88°･95.5°･103°（7.5°ﾋﾟｯﾁ･可変）
L7	フットレスト長	スタンダード:315～395 (10mmﾋﾟｯﾁ･可変) / ハイマウント:120～300 (10mmﾋﾟｯﾁ･可変)
D2	タイヤサイズ	37-501(外径:577mm､ﾘﾑｻｲｽﾞ:22×1-1/4､＊22ｲﾝﾁ) / 37-540(外径:616mm､ﾘﾑｻｲｽﾞ:24×1-3/8､＊24ｲﾝﾁ)
L4	車軸前後位置	-35
W3	キャンバー寸法	0
W2	ハンドリム取付間隔	20
D3	キャスター径	178
BL	ブレーキレバー長	55･75･110･140
SA	アームレスト高	ロータイプ=240～280 / ハイタイプ=290～330(10mmﾋﾟｯﾁ･可変)
	重量	電動ユニット:JWX-1+ニッケル水素バッテリー=27.8kg(フレーム:タイプⅠ) / 27.7kg(フレーム:タイプⅢ)

※上記仕様諸元表で寸法等の記載の無いものは､次の仕様を元に算出しております。
シート奥行:350㎜ / シート幅:320㎜ / バックレスト高:300㎜ / バックレスト角度:88° / フットレスト長:345㎜ / タイヤ:37-540(616mm) / キャスターカラー(10㎜)位置:上1個･下1個 / フットレスト:プレートジョイント(スタンダード) / セパレートアームレスト:標準装備 / その他オプション･アクセサリー:無し

下図寸法の記号

電動ユニット[JWX-1]
※車いすの仕様や環境により異なります。

	登坂角度	充電時間	連続走行距離(ニッケル水素バッテリー)
最高速度4.5km／h仕様	6°	約2～3時間	15ｋｍ／1充電
最高速度6km／h仕様	6°	約2～3時間	16ｋｍ／1充電



GW-E 仕様諸元（単位：mm）

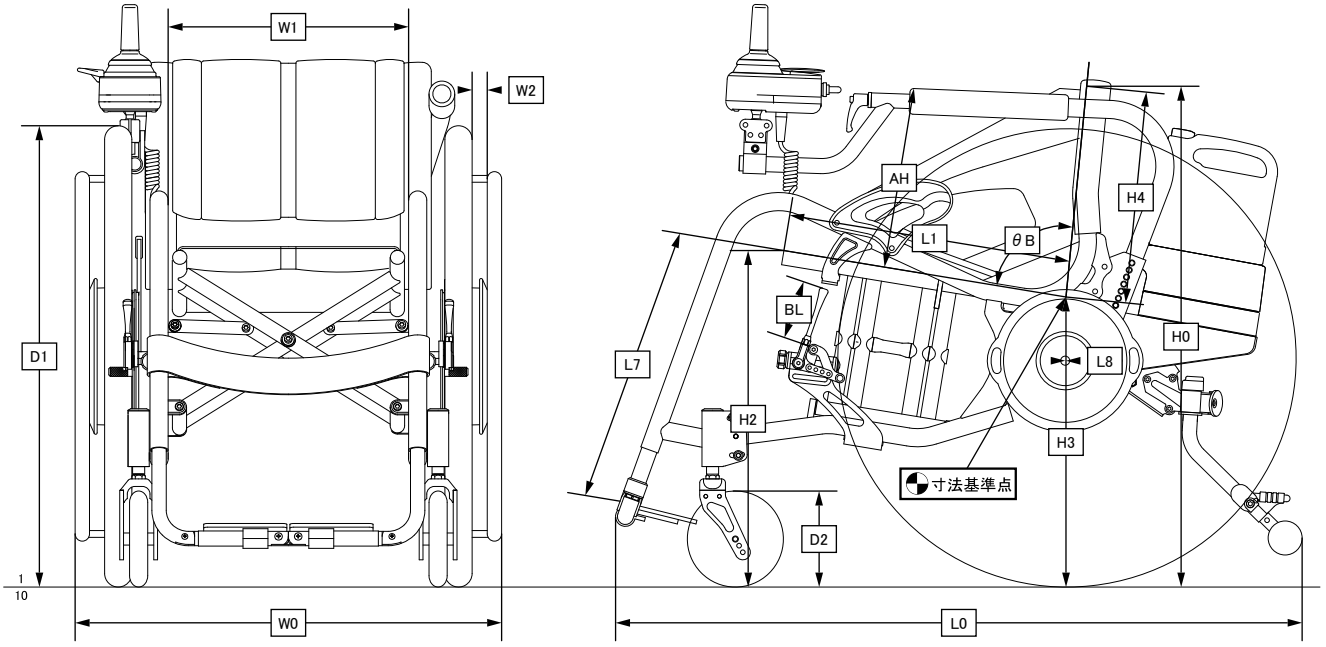
L0	全長	930
H0	全高	672
L1	前座高	シート奥行:350=440／380=444／420=450
H3	後座高	385
L2	シート奥行	350･380･420
W1	シート幅	275～415(20mmﾋﾟｯﾁ)＊規格寸法は280～420mm(20mmﾋﾟｯﾁ)
W0	全幅	560
	折りたたみ幅	380
H4	バックレスト高	ロータイプ=280～330 /ミディアムタイプ=330～380 /ハイタイプ=380～430 (10mmﾋﾟｯﾁ･可変)
θB	バックレスト角	86°
L7	フットレスト長	スタンダード:320～400 (10mmﾋﾟｯﾁ･可変) / ハイマウント:120～300 (10mmﾋﾟｯﾁ･可変)
D1	タイヤサイズ	37-501(外径:577mm､ﾘﾑｻｲｽﾞ:22×1-1/4､＊22ｲﾝﾁ) / 37-540(外径:616mm､ﾘﾑｻｲｽﾞ:24×1-3/8､＊24ｲﾝﾁ)
L4	車軸前後位置	0
W3	キャンバー寸法	0
W2	ハンドリム取付間隔	20
D2	キャスター径	樹脂コア=127 /LPC4=125 /クッションキャスター=125
BL	ブレーキレバー長	55･75･110･140
AH	アームレスト高	ロータイプ=240～280 / ハイタイプ=290～330(10mmﾋﾟｯﾁ･可変)
	重量	電動ユニット:JWX-1+ニッケル水素バッテリー= 25.4kg 電動ユニット:JW-Ⅱ+ニッケル水素バッテリー= 24.8kg

※上記仕様諸元表で寸法等の記載の無いものは､次の仕様を元に算出しております。
シート奥行:350mm／シート幅:320mm／バックレスト高:280mm／フットレスト長:400mm／タイヤ:37-540(616mm)／車軸前後位置:0mm／キャスターフォーク:CZ1-Std／キャスター径:127mm(樹脂コア)／キャスターカラー(10mm)位置:上1ケ･下1ケ／キャスターホイール取付穴:3穴の最上穴／フットレスト:プレートジョイント(スタンダード)／アームレスト付き／その他オプション･アクセサリー無し

下図寸法の記号

電動ユニット[JWX-1]
※車いすの仕様や環境により異なります。

	登坂角度	充電時間	連続走行距離(ニッケル水素バッテリー)
最高速度4.5km／h仕様	6°	約2～3時間	15ｋｍ／1充電



mini-E 仕様諸元（単位：mm）

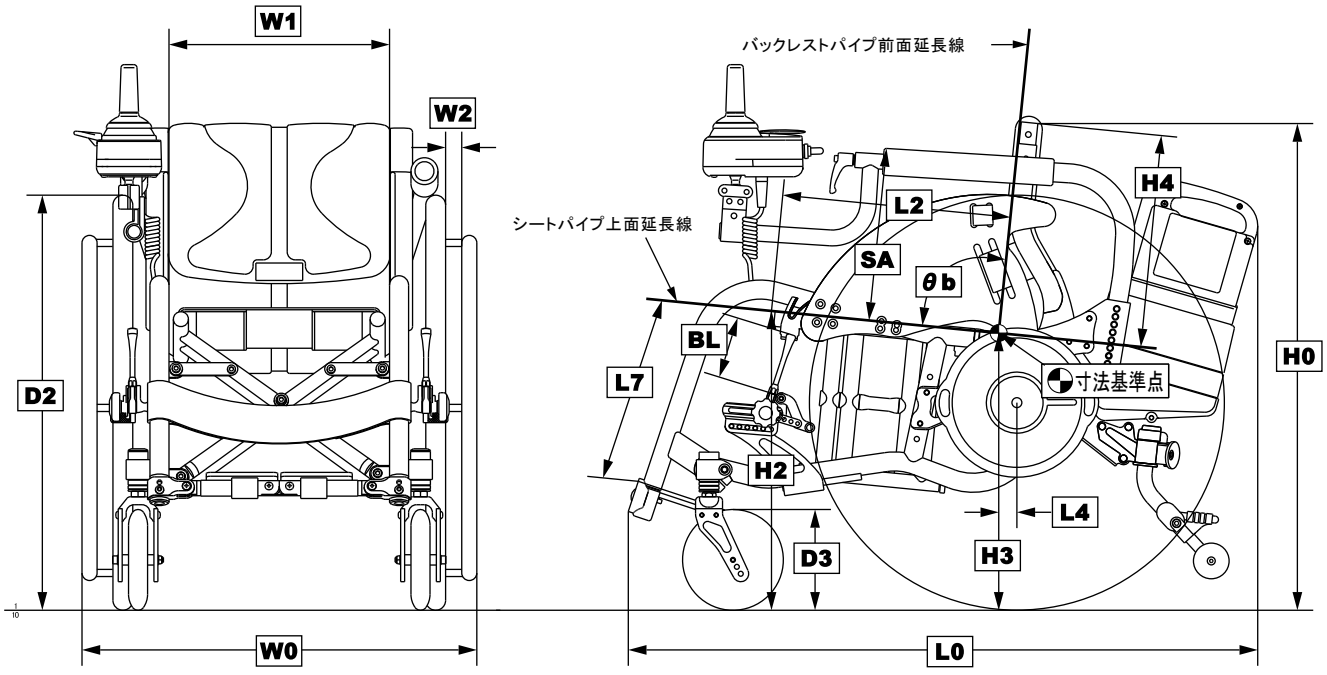
L0	全長	スーパーショートフレームの場合=793 / ショートフレームの場合=876
H0	全高	スーパーショートフレーム=613 / ショートフレーム=608
H2	前座高	スーパーショートフレーム=377 / ショートフレーム=372
H3	後座高	スーパーショートフレーム=349 / ショートフレーム=343
L2	シート奥行	スーパーショートフレーム=260･280 / ショートフレーム=330
W1	シート幅	スーパーショートフレーム=235～335（20mmﾋﾟｯﾁ）※規格寸法は240～340（20mmﾋﾟｯﾁ） ショートフレーム=275～335（20mmﾋﾟｯﾁ）※規格寸法は280～340（20mmﾋﾟｯﾁ）
W0	全幅	540
	折りたたみ幅	380
H4	バックレスト高	ロータイプ=280～330 / ミディアムタイプ=330～380 / ハイタイプ=380～430 / スーパーハイタイプ=440～480（10mmﾋﾟｯﾁ･可変）
θb	バックレスト角	82°・90°・98°・95.5°・106°（8°ﾋﾟｯﾁ・可変）
L7	フットレスト長	スーパーショートフレーム=90～230（10mmﾋﾟｯﾁ･可変） / ショートフレーム=90～250（10mmﾋﾟｯﾁ･可変）
D2	タイヤサイズ	37-451（外径:595mm、ﾘﾑｻｲｽﾞ:20×1-3/8、＊20ｲﾝﾁ）
L4	車軸前後位置	-25
W3	キャンバー寸法	0
W2	ハンドリム取付間隔	20
D3	キャスター径	樹脂コア=127/クッションキャスター=125
BL	ブレーキレバー長	55･75･110･140
SA	アームレスト高	ロータイプ=220～270 / ハイタイプ=270～310（10mmﾋﾟｯﾁ･可変）
	重量	電動ユニット：JWX-1+ニッケル水素バッテリー=26.0kg（スーパーショートフレーム） / 26.4kg（ショートフレーム）

※上記仕様諸元表で寸法等の記載の無いものは、次の仕様を元に算出しております。・
シート幅: 280mm/シート奥行き: 280mm〔スーパーショートフレーム〕･330㎜〔ショートフレーム〕/バックレスト高: 280mm/バックレスト角度: 90° / フットレスト： ハイマウントジョイント/フットレスト長: 230mm〔スーパーショートフレーム〕･ 250mm〔ショートフレーム〕/キャスターホルダー上下位置: 下から4段目〔スーパーショートフレーム〕･ 下から3段目〔ショートフレーム〕/キャスターホイール取付穴: 最上穴/オプション、アクセサリー無し

下図寸法の記号

電動ユニット[JWX-1]
※車いすの仕様や環境により異なります。

	登坂角度	充電時間	連続走行距離（ニッケル水素バッテリー）
最高速度4.5km／h仕様	6°	約2～3時間	15ｋｍ／1充電



お客様ご相談窓口のご案内

《お客様ご相談窓口》

お買い上げいただきました当社の製品やサービスについてご質問・ご意見・ご要望などがございましたらご遠慮なくお寄せください。また、各種オプション・アクセサリーに関するお問い合わせもご遠慮なくお寄せください。

株式会社オーエックスエンジニアリング
営業部　お客様ご相談窓口
TEL 043-228-0777　FAX 043-228-3334

《アフターサービスの実施》

お買い上げいただきました販売店が点検・修理をはじめ、アフターサービスのご相談などをお受けいたします。

当社への部品のお問い合わせや、故障箇所をご説明いただくときなどは次の方法でお問い合わせください。

本書をお手元に用意していただき、巻末に記載されている取扱説明書NO.を確認して「YZ-E/mini-E○○年○月○版の○○ページの、図○-○の、○○○」とご説明ください。

例）　23ページの、図2-2の「取付けボルト」
例）　37ページの、図2-29の「ボルト」

お問い合わせ先
株式会社 オーエックスエンジニアリング
営業部 お客様ご相談窓口
〒265-0043　千葉市若葉区中田町2186-1
TEL043-228-0777
FAX043-228-3334

販売元
株式会社オーエックスエンジニアリング
〒265-0043 千葉市若葉区中田町2186-1
URL　www.oxgroup.co.jp

不法廃棄はしないでください。

YZ-E/GW-E/mini-E取扱説明書2011年5月10版
©OX ENGINEERING